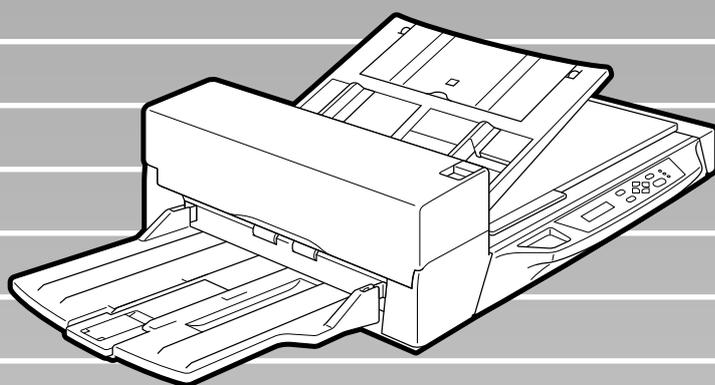




P3PC-E662-02

fi-4750N イメージスキャナ

システム操作・管理マニュアル



安全にお使いいただくために

本書について

本書には、お買い上げいただいた製品を安全に正しく使用するための重要な事柄が記載されています。本製品をご使用される前に、本書を熟読してください。

また、本書は、本製品の使用中にいつでもご覧になれるように、大切に保管してください。

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波自主規制協議会（VCCI）基準に基づくクラスB情報処理装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としておりますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

国際エネルギースタープログラムについて

当社は、国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの基準に適合していると判断します。



国際エネルギースタープログラムは、コンピュータをはじめとしたオフィス機器の省エネルギー化促進のための国際的なプログラムです。このプログラムはエネルギー消費を効率的に抑えるための機能を備えた製品の開発、普及の促進を目的としたもので、事業者の自主判断により参加することができる任意制度となっています。対象となる装置は、コンピュータ、ディスプレイ、プリンタ、ファクシミリおよび複写機等のオフィス機器で、それぞれの基準ならびにマークは参加各国で統一されています。

ハイセイフティ用途での使用について

本製品は、一般事務用、パーソナル用、家庭用、通常の産業用等の一般的用途を想定して設計・製造されているものであり、原子力施設における核反応制御、航空機自動飛行制御、航空交通管制、大量輸送システムにおける運行制御、生命維持のための医療用機器、兵器システムにおけるミサイル発射制御など、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途（以下「ハイセイフティ用途」という）に使用されるような設計・製造されたものではありません。お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本製品を使用しないでください。お客様がハイセイフティ用途に本製品を使用したことにより発生する損害につきましては、お客様または第三者からのいかなる請求または損害賠償に対しても当社は一切その責任を負いません。

事業系の使用済み製品の引き取りとリサイクルについてのお願い

- ・ この製品の所有権が事業主の場合には、使用後に廃却される製品は産業廃棄物扱いとなり、廃棄する際にはマニフェスト伝票（産業廃棄物管理表）の発行が必要となります。
- ・ 製品所有者が当社に廃棄を依頼される場合には、当社と連携している物流会社（産業廃棄物収集運搬許可業者）にて引取りを行いますので、その際には、「PFU ライフビジネス株式会社 首都圏リサイクルセンター」（電話 0467-70-7290）へお問い合わせをお願いします。
- ・ 当社では、リサイクルシステムを構築し、リサイクルセンターで使用済み製品の解体、分別処理により、部品の再利用や材料へのリサイクルを行っています。

グリーン製品について



本製品は、当社の厳しい環境評価基準（リサイクル、省エネ化、環境にやさしい素材の採用など）をクリアした地球にやさしい「グリーン製品」として提供しています。

詳細は富士通ホームページ「環境のコーナー」をご参照ください。

<http://eco.fujitsu.com/>

複製について

紙幣、貨幣、政府発行の有価証券およびパスポート、公共団体や民間団体発行の免許証許可証、公文書、私文書などの複製は違法であり、処罰の対象となります。

著作権について

書籍、絵画、版画、地図、図面および写真などの著作物は、個人的にまたは家庭内のその他、これらに準ずる限られた範囲内で使用する用途以外は、権利者の許可なしに複製することはできません。

商標および登録商標について

Microsoft®、Windows® および Windows NT® は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

ISIS® は、Pixel translations, A Division of Actionpoint Inc. の登録商標です。

その他、本書中の商品名や製品名は、各社の登録商標または商標です。

本書の内容の全部または一部を複製すること、およびソフトウェアを複製することは著作権法上禁止されております。本書の内容は、将来予告なしに変更することがあります。本装置の使用および本書に記載された内容に起因した損害、逸失利益、および第三者からのいかなる請求等につきましても、当社は一切その責を負いません。本装置の保証条件は、同梱の当社所定の保証書の規定をご覧ください。本装置の修理部品の最低保有期間は、製造中止後 5 年間です。落丁、乱丁本はお取り替えいたします。

はじめに

このたびは、fi-4750N をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

本装置は、LAN (TCP / IP) による読み取った画像データの MAIL 送信、データ送信をボタン一つで実現するネットワークスキャナ装置です。インターネットや LAN を使用して、紙ベースの情報を手軽に電子化し、配付 / 公開するシステムが簡単に構築できます。

本装置はネットワークに接続する機器のため、注意事項を守らなかったり、扱い方や操作を間違えるとネットワーク環境を害したり、情報セキュリティ上のトラブルを招いたりする可能性があります。

事故やトラブルを防止するため、装置を操作する前に本書をよく読み、十分に内容を理解してください。

版数	発行日	改訂内容
01	2000年10月	初版
02	2002年3月	マニュアルコード変更
マニュアルコード: P3PC-E662-02		

本書で使われているマークの意味

本書では以下に示すマークが使われています。

注意

記載事項を守らないと、ネットワーク上の装置に被害をおよぼしたり、情報セキュリティ上のトラブルを招いたりする恐れのある事項です。



こんなことに
気を付けて

操作時に気をつけるべき事項です。守らないと、装置が正しく動作しない可能性があります。



参考

操作の際に参考となる情報です。



参照

参照していただく章、項目、文書などを示します。

ページの見かた

本書の各ページは、次のような構成になっています。

< 例 >

操作するボタンや
スイッチのイラスト

操作の内容

本書について

注意

使用する前に本書を必ず読み十分に内容を理解してください。

本書を読まずに、いきなり電源を入れたり、スイッチに触ったりしないでください。

書かれている手順に従って本装置を操作してください。

運用管理者が守るべき事項

注意

管理者は、一般ユーザがネットワークに負担をかけない範囲内のデータ量で送信を行うように、適切な指導を行ってください。過度に大量のデータを送信するとネットワークに負担をかけ、サーバがダウンするなどの恐れがあります。

また、メール送信の場合、送信先のメールクライアントだけでなく、同じメールサーバを利用している他のメールクライアントのメール送受信に負荷を与える恐れがあります。

注意

- ・ “かんたん読取り設定” で “グレー” が選択されている場合、大量の原稿を読取らせる場合、またはデータ量が大きくなるようないくつかの要因が重なる場合は、送信するデータ量にネットワークが対応できるか管理者に相談してから原稿の読取りを行ってください。
過度に大量のデータを送信するとネットワークに負担がかかり、サーバがダウンするなどの恐れがあります。
- ・ メール送信機能によりデータを送信するときは、管理者に相談し、データ量の大きいものは送信しないようにしてください。
メールは受信されるまでメールサーバ内に蓄えられます。
メール分割するしないにかかわらず、データ量の合計が大きいメールを送信すると、メールサーバの保存領域を圧迫します。その結果、送信先のメールクライアントだけでなく、同じメールサーバを利用している他のメールクライアントのメール送受信に負荷を与える恐れがあります。
- ・ fi-4750N はネットワークに接続する装置であり、FAX 等比べてデータの秘匿性が低くなります。特に機密を要する書類を送信する場合は注意してください。

目次

安全にお使いいただくために
はじめに
本書で使われているマークの意味
ページの見かた

目次

1 章	この製品について	1-1
1.1	用途と機能	1-1
1.2	特徴	1-5
1.3	画像データのサイズについて	1-9
2 章	各部の名称	2-1
2.1	各スイッチ、ランプの機能	2-1
3 章	初期設定	3-1
3.1	IPアドレスを設定する	3-1
3.2	ネットワーク情報を設定する	3-7
4 章	用途に応じた設定と管理	4-1
4.1	LAN 関連の設定を変更する	4-1
4.2	Ping 送信により接続を確認する	4-5
4.3	動作モードの設定を変更する	4-7
4.4	パスワードを設定する	4-11
4.5	グループの構成を変更する	4-14
4.6	設定情報を待避・復元する	4-18
4.7	装置の状態を見る	4-21
4.8	消耗品カウンタをリセットする	4-23

5章	JOBの登録	5-1
5.1	TOPのページにアクセスする	5-2
5.2	メールJOBを登録する	5-3
5.3	ファイルJOBを登録する	5-11
5.4	Network TWAIN 連携JOBを登録する	5-18
5.5	ファイル名について	5-24
6章	読取り設定をカスタマイズする	6-1
7章	読取り / 送信	7-1
7.1	読取ったデータを送信する	7-1
7.2	片面 / 両面モードについて	7-6
7.3	追加モードについて	7-7
8章	トラブルシューティング	8-1
8.1	一時的なエラー	8-1
8.2	装置異常 (アラーム)	8-4
8.3	ネットワーク系エラー	8-6
8.4	困ったときには	8-9

仕様

索引

修理・問合せについて

1 章 この製品について

1.1 用途と機能

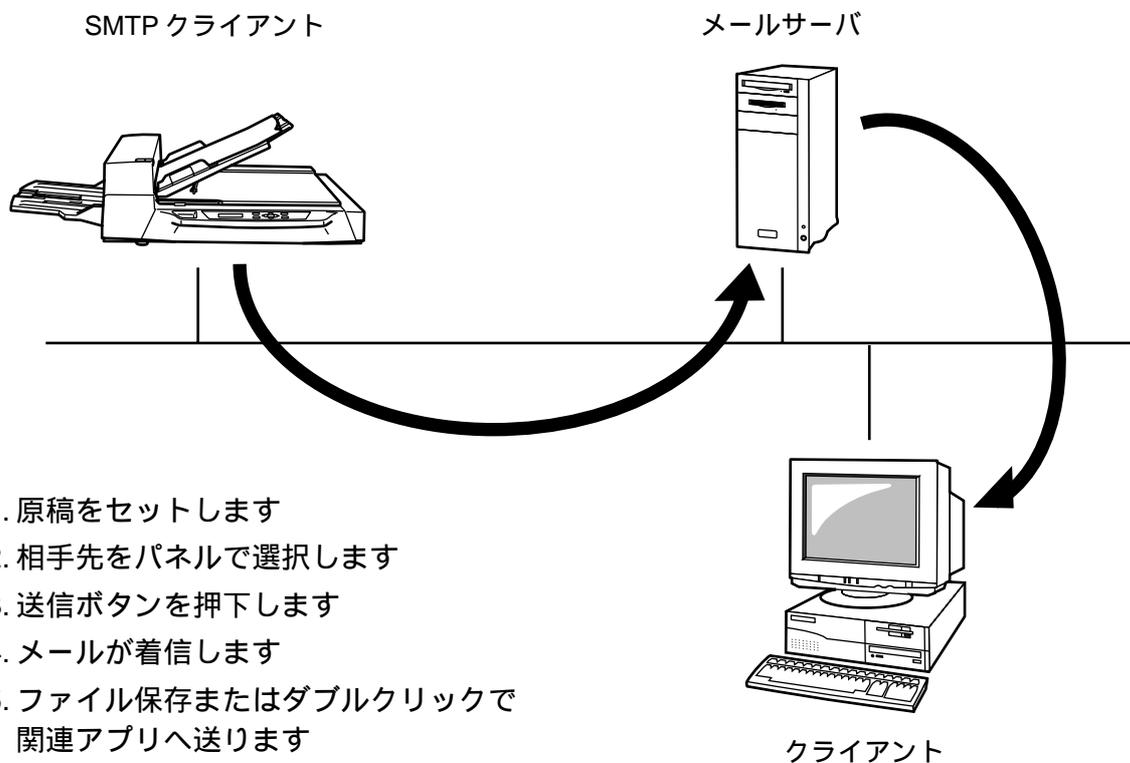
fi-4750N は LAN に直接接続され、スキャナ装置のオペレータパネル操作だけで他のコンピュータに対して画像データを送信することが可能です。

本装置の設定はネットワーク上のクライアント端末からブラウザを利用して行います。

本装置で実現できること

- ・ 画像データを e メールに添付して送信します
- ・ 画像データをサーバフォルダへ送信 (FTP) します
- ・ 画像データを TWAIN-API 経由でアプリケーションへ送ります

- ・ 画像データを e メールに添付して送信します

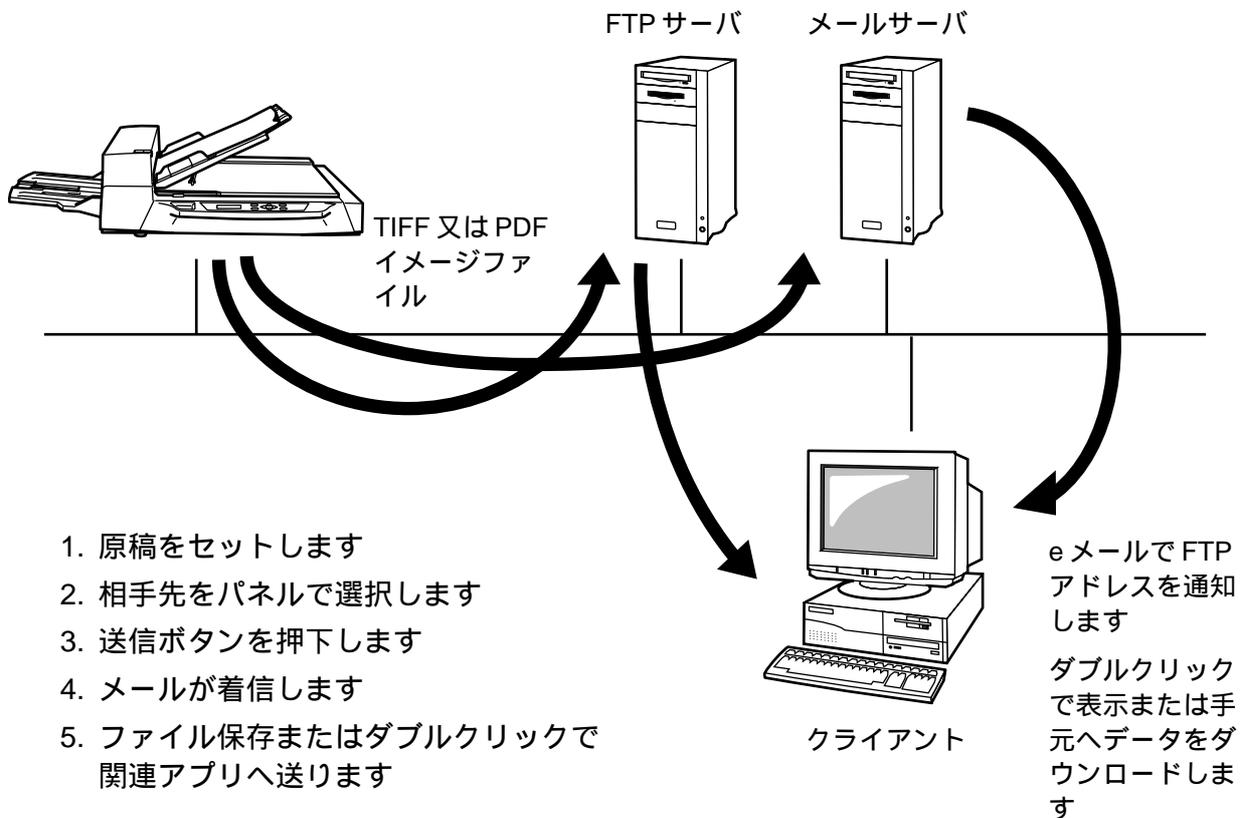


1. 原稿をセットします
2. 相手先をパネルで選択します
3. 送信ボタンを押下します
4. メールが着信します
5. ファイル保存またはダブルクリックで
関連アプリへ送ります

本機能では、TIFF 又は PDF ファイル化された画像データをメールサーバ経由でクライアントへ渡すことができます。

一般的なオフィスに浸透した e メールを利用できる環境であれば、簡単な設定を行うことですぐに運用を開始することができます。e メールは非常に簡単なネットワーク利用方法ですが、画像データという比較的大きなサイズのデータを送信するため、いくつかご注意頂きたい事項があります。

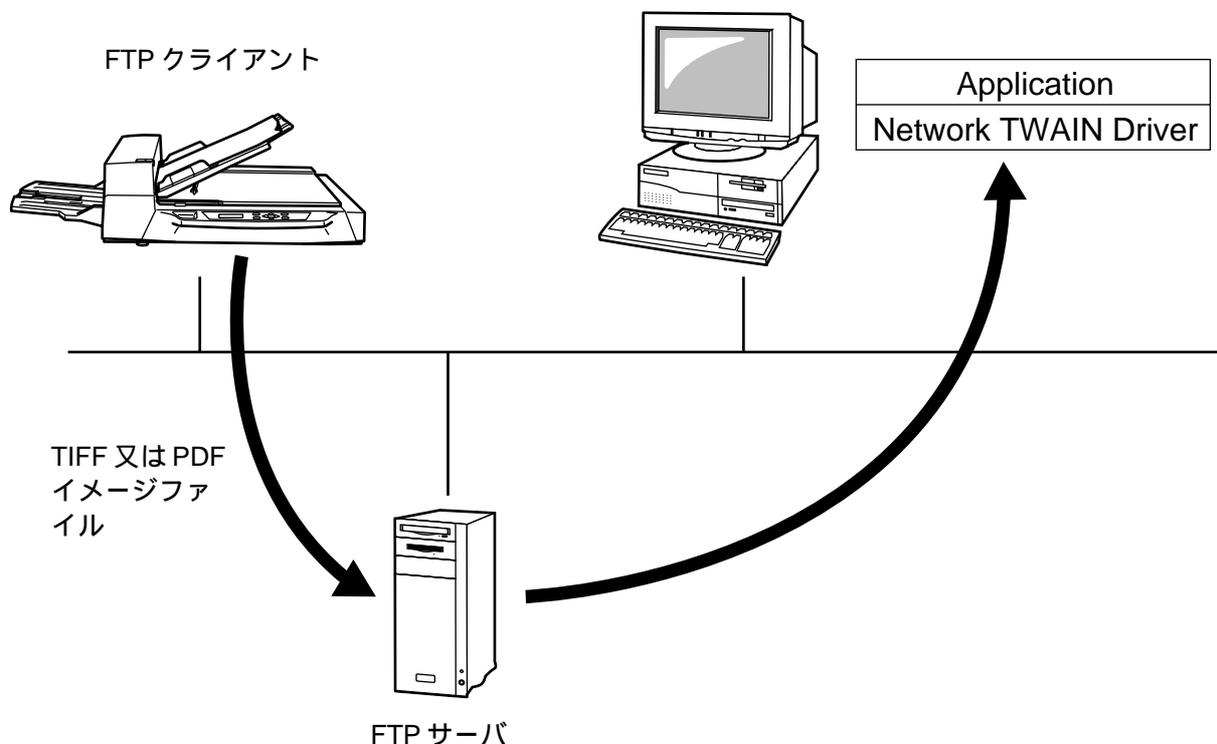
- ・ 画像データを FTP 送信します



本機能では、TIFF 又は PDF ファイル化された画像データを FTP サーバへ渡すことができます。一般ユーザが FTP サーバへデータを取りにゆくには若干の知識を必要としますが、本装置では一旦装置への送信設定を行ってしまえばその FTP 送信先へのアクセス情報 (FTP パス) を eメールの本文として、クライアントへ送付する機能を備えており、FTP されたイメージデータへ簡単にアクセスすることができます。

FTP サーバの利用は、ネットワークの管理と深くかかわっており、eメールほど簡単ではありません。運用の設定においては FTP サーバ管理者の補助が必要になります。しかしそのデータ送受信速度は非常に高速であり、イメージデータという比較的大きなサイズのデータの送信に向いています。FTP を利用したデータ送信業務の設定に関しては運用設定編を参照してください。

- ・ 画像データを TWAIN-API 経由で取込みます



本機能は、FTP による画像データ転送がベースになっています。先の FTP による転送と同じ運用環境と設定知識が必要となりますが、転送された画像データの使用方法が異なります。FTP においてはデータの利用は、転送されたイメージファイルを中心とした取扱いとなりますが、TWAIN ドライバを利用すると、アプリケーションに対して TWAIN-API から FTP されたイメージを取りこめます。

なお、ここで言う TWAIN-API では、画像読取りにおけるパラメータなど、アプリケーション側からの読取り設定を行うことはできません。

この運用方法においては先に原稿イメージをスキャナにより読取らせておいて、FTP サーバ内にファイル化して蓄積しておき、後に Network TWAIN Driver を使って FTP サーバ内のイメージファイルを取り出す運用形態となります。

1.2 特徴

オペレータパネル運用ときめこまやかなガイダンス表示

本装置は、基本的にオペレータパネルでのシステム運用が可能なよう、設計されています。本装置で遂行したい業務内容は装置へあらかじめ JOB（業務内容を設定したもの）として設定しておくことが前提となっています。

ユーザ（オペレータ）は、オペレータパネルの LCD 表示を参照しながら装置に設定されている JOB（業務）を選択し、実行します。

JOB の推移は LCD 表示器に常に表示され、完了もしくは途中で発生したエラー内容や復旧のためのガイダンスを行うため、基本的な操作をいくつか覚えていただくだけで、非常に簡単に画像データを利用するシステム構築・運用が可能です。

ブラウザインタフェース

本装置を運用するためには、いくつかの基本的設定（ネットワークや装置稼動条件など）と、読取り条件、送信条件など業務運用に関する設定をしていただく必要があります。

本装置はこの設定においてはユーザインタフェースとしてブラウザを利用します。本装置内には、ブラウザサーバがインストールされており、クライアントもしくは管理者の端末から一般的なブラウザ（Internet Explorer や Netscape Navigator など）を利用して本装置にアクセスし、情報を確認したり設定を変更することができ、OS などユーザのシステム環境に依存せずに画像データを利用することが可能です。

原稿の読取り元（ADF またはフラットベッド）を自動判別します。

読取り開始時、原稿が ADF 給紙シュートにセットされているときは、ADF から原稿を自動給紙して読取りを行います。読取り開始時、ADF 給紙シュートに原稿がセットされていないときはフラットベッドに置かれた原稿を読取ります。

両面原稿（ADF）指定はオペレータパネル操作で行います。

JOB（読取り方法、データ送信先、データ送信方法などを設定したもの）の設定は装置内部の不揮発性メモリに対してブラウザ経由で行いますが、読取り原稿に依存した片面・両面の指定はオペレータパネルからワンタッチで切換えることができます。読取り開始前に片面/両面切替スイッチにて読取りモードを指定してください。設定したモードはLCD表示部にアイコンとして表示されています。

ADF読取り時、白紙ページをスキップして白紙データ送信を防止できます。

ADFで両面読取りを行う際、白紙ページを検出してスキップ（白紙ページデータを送信しない）することができます。この機能を使うにはJOB設定において“白紙スキップする”を選択しておく必要があります。

白紙スキップ機能は、ADF読取り時で、かつ両面読取り指定（）のときのみ機能します。片面読取り（）時や、フラットベッド読取り時には機能しない仕様となっております。

白紙スキップ機能は、各ページの読取りデータを元に、画像における黒ドット比率を計算し、その比率が一定の割合以下のページデータを自動削除する機能です。画像の読取りパラメータ指定状態や、原稿状態に左右されますので、運用においては事前にその効果を確認されることをおすすめします。

フラットベッドの原稿サイズを自動認識します。

フラットベッドの原稿を読取るとき、装置が原稿のサイズを読取り前にチェックして自動的に読取りサイズを決定します。

この機能をご利用になるには以下の条件が必要です。

フラットベッド原稿押さえが黒タイプであること。(交換方法に関してはfi-4750N イメージスキャナ オペレータガイドを参照してください)

管理者メニューの装置動作モード設定において、フラットベッド原稿押さえ色が“黒”に設定されていること。



設定に関しては本書“4章の4.3 動作モード”の設定を変更する”を参照してください。

原稿は“縦”にセットしてください(原稿の長辺を原稿台の奥に突き当ててください)。

原稿を“横”にセットするとサイズ検出に失敗し、倍の大きさの画像データが送信されます。

定型サイズ原稿を検出対象としています。非定型原稿サイズも検出して読取ろうとしますが、画像が欠落する場合があります。以下に検出可能な原稿サイズを記載します。

A3 (297 mm × 420 mm)

A4 (210 mm × 297 mm)

A5 (148 mm × 210 mm)

B4 (257 mm × 364 mm)

B5 (182 mm × 257 mm)

ハガキ(100 mm × 149 mm)

名刺(55 mm × 90 mm)

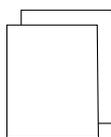
ファイル形式

本装置は、イメージデータの送信を TIFF 又は PDF ファイル形式で行います。

TIFF および PDF ファイル形式は複数のドキュメントページを一つのファイルとして作成することができます。複数のページを一つのファイルにまとめたものを“マルチページ TIFF”又は“マルチページ PDF”と称します。1 ページを1 ファイルにしたものを“シングルページ TIFF”又は“シングルページ PDF”と称します。

ネットワークを通じたファイル形式での複数ドキュメントのやり取りにおいてはマルチページ TIFF 又はマルチページ PDF ファイル形式のほうが便利です。

追加モード



通常本装置は、読取り操作ごとに画像データをファイル化し、送信しますが、追加モードを使用すると、複数回操作で読取った原稿を1つのマルチページ TIFF 又は PDF ファイルとして処理することができます。

たとえば、フラットベッドで本などのページを1枚ずつ読取る場合や、ADF とフラットベッドで交互に読取る場合、このモードを使用するとそれらを1つのマルチページ TIFF 又は PDF ファイルにすることができます。

このモードを使用する場合は、最初の読取り開始前にファンクションスイッチを押した後、ADF およびフラットベッド読取りを開始してください。読取り完了ごとに継続するか否かを装置が問い合わせますので、問い合わせに対して継続および終了の指示を与えることにより、処理を進めることができます。



追加モードは、JOB でマルチページ TIFF 又はマルチページ PDF のファイル形式を選択した場合にのみ有効です。シングルページ TIFF 又はシングルページ PDF のファイル形式を選択している場合、動作的には追加モードと指定の動作をしますが、ファイル形式はシングルページ TIFF 又はシングルページ PDF 形式のままです。

1.3 画像データのサイズについて

注意

管理者は、一般ユーザがネットワークに負担をかけない範囲内のデータ量で送信を行うように、適切な指導を行ってください。

過度に大量の画像データを送信するとネットワークに負担をかけます。

送信先のメールクライアントだけでなく、同じメールサーバを利用している他のメールクライアントのメール送受信に負荷を与える恐れがあります。

画像データのサイズは、下記の要素により増減します。

読取り方法

画像タイプ

“かんたん読取り設定”で“グレー”を選択すると、その他の設定に比べデータ量が8倍になります。

また、圧縮形式の設定が無効になり圧縮が行われなくなります。

用紙設定

画像データは用紙の読取り面積に比例して大きくなります。A3サイズの画像はA4サイズの画像の2倍のデータ量になります。

解像度

画像データは解像度の2乗に比例して大きくなります。400 dpiの画像は200 dpiの画像の4倍のデータ量になります。

圧縮形式

画像を MH/MR/MMR 圧縮した場合のデータ量は、読取った画像の圧縮率に左右されます。

一般的なオフィス文書の場合、MMR 圧縮した画像は非圧縮時の約 1/4 (25%) ~ 1/10 (10%) になります。

“かんたん読取り設定”で“グレー”を選択すると、圧縮形式の設定が自動的に無効になり圧縮が行われなくなります。

例) デフォルト設定の(文字+写真 / 200 dpi / MMR 圧縮)で A4 の書類を読取り、圧縮率が 25% だった場合、1 ページ当りのデータ量は

約 0.46 MBytes (非圧縮時) × 0.25 = 約 0.115 MBytes です。

設定を(グレー / 200 dpi / 非圧縮)にして A4 の書類を読取ると

約 0.46 MBytes × 8 = 約 3.68 MBytes になります。

設定を(文字+写真 / 400 dpi / MMR 圧縮)にして A3 の書類を読取ると

約 0.46 MBytes × 2 × 4 × 0.25 = 約 0.92 MBytes になります。

ページ数

データ量はページ数に比例して大きくなります。

送信方法

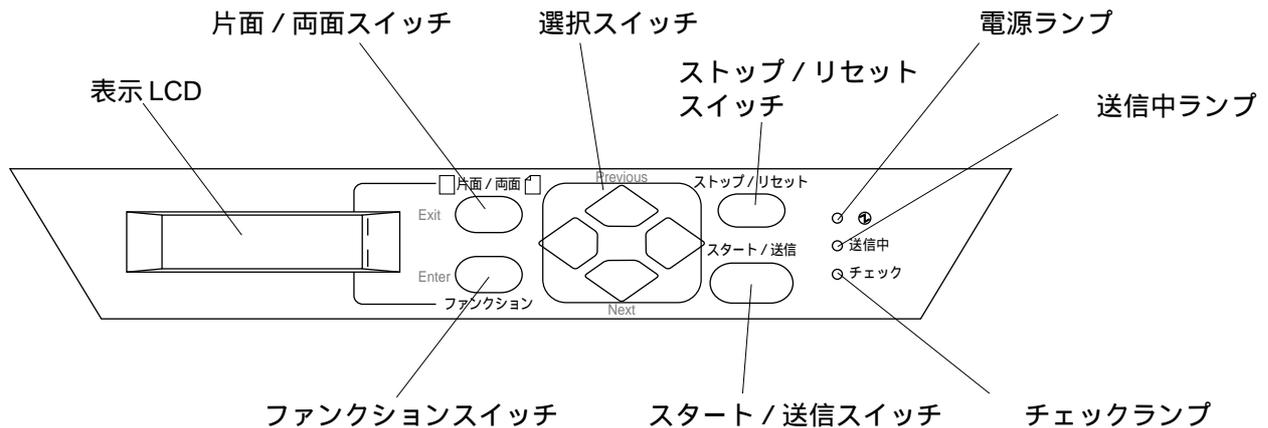
e メールに添付して画像データを送信する場合、e メール添付のための変換によりデータ量が約 4/3 倍になります。

メール送信の場合は、メールサーバの記憶領域の容量を配慮して、データ量が極力小さくなるようにする必要があります。

2章 各部の名称

2.1 各スイッチ、ランプの機能

オペレータパネル



表示 LCD

業務選択、動作モードアイコン、装置メッセージなどの情報を表示する液晶表示パネルです。

片面 / 両面スイッチ

ADFユニットから自動給紙で原稿を読取る際、原稿を両面読取りするか、表面のみを読取るか指定するスイッチです。本スイッチの指定状態は、表示 LCD の右上位置にアイコンで表示されます。



: 両面読取りモードであることを表します。



: 表面読取りモードであることを表します。

ファンクションスイッチ

追加モード選択のスイッチです。

追加モードとは、本機で原稿イメージをマルチページ TIFF 又はマルチページ PDF ファイル形式で送信する際に、ADF 読取りとフラットベット読取りを交互に行ったり、ADF で数回に分けて読取ったイメージファイルを 1 ファイルとして送信するモードのことです。

選択スイッチ

装置の各種設定、JOB の選択、一時的エラー発生時のリカバリ方法指定などの選択を行うとき使用するスイッチです。

スタート / 送信スイッチ

読取り / 送信を開始したり、選択内容を決定するときに使用するスイッチです。

ストップ / リセットスイッチ

原稿読取りの中断、一時的エラーの解除や表示をホームポジションへ戻したりするときに使用するスイッチです。

電源ランプ

装置の電源が投入されている間、点灯しています。

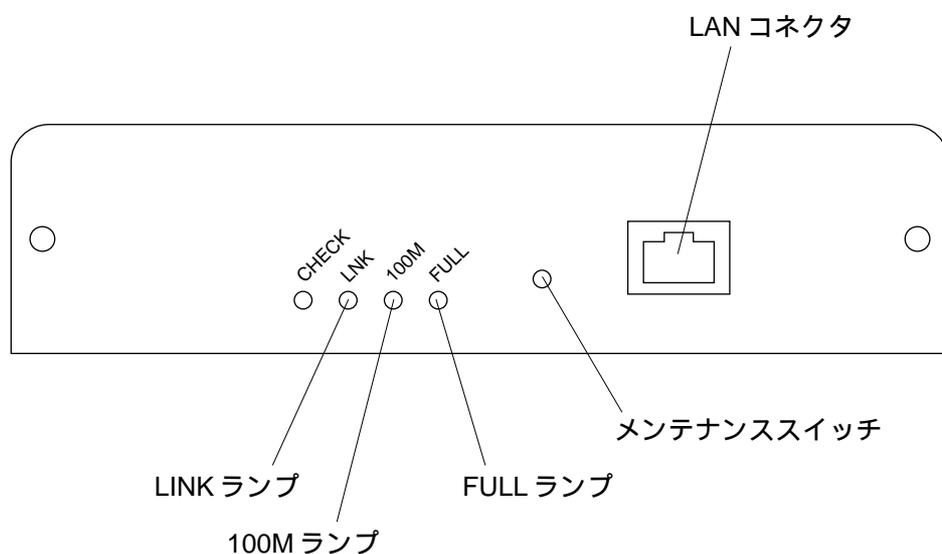
送信中ランプ

読取りが開始された後、データ送信が完了するまでの間点滅しています。本ランプの点滅中は、処理が完了していない状態を表します。

チェックランプ

装置に何らかのトラブルが発生していることを表します。本ランプが点滅または点灯しているときはLCDに表示されているメッセージからのトラブルシューティングまたはリカバリメッセージにしたがってトラブルを解決してから読取りを再開してください。詳細は8章トラブルシューティングを参照してください。

I/F パネル



LINK ランプ

装置がネットワークに接続され、ネットワーク中継器（HUB など）との通信が確立しているときに緑色で点灯します。

装置がネットワーク上で利用できない状態にあるとき消灯します。



このランプは、ケーブルの接続状態や、ケーブルの接続相手（HUB など）の電源状態などにより点灯状態が変わります。

このランプが点灯していても、データ送信先（サーバやクライアント）との通信が確立しているとは限りません。

100M ランプ

100 Mbps で送信中の場合は緑色で点灯し、10 Mbps で送信中の場合は消灯します。

FULL ランプ

全二重通信の場合は緑色で点灯し、半二重通信の場合は消灯します。

メンテナンススイッチ

保守時に使用します。通常は使用しないでください。

LAN コネクタ

LAN ケーブルを接続します。100BASE-TX と 10BASE-T を装置が自動的に識別し、切換えます。



RJ45 タイプコネクタを使用したツイストペアケーブルを使用してください。

また、100BASE-TX の通信速度で使用する場合は、カテゴリ 5 のツイストペアケーブルを使用する必要があります。

3章 初期設定

3.1 IPアドレスを設定する



LANケーブルはまだ接続しないでください。

本装置はTCP/IPプロトコルをベースに他の装置との通信を行います。このとき、ネットワーク上でこの装置を特定するため、IPアドレスを使用します。そのため本装置をネットワーク上で稼働させるためには、まず最初にIPアドレスと、サブネットマスクを設定します。



IPアドレスの設定はネットワーク管理者またはその指導の下にある人が行ってください。

1) スキャナの電源を入れます。

- ・ スキャナが立ち上がり、しばらくすると次のメッセージが表示されます。

L	A	N	ケ	ー	ブ	ル	ミ	セ	ツ	ゾ	ク											
L	A	N	ケ	ー	ブ	ル	セ	ツ	ゾ	ク	ヲ	カ	ク	コ	ン	シ	テ	ク	タ	サイ		

← スクロール



電源を入れてから1分ほど待ってもこのメッセージが表示されない場合は、電源を切り、LANオプションボードがきちんとスキャナに接続されているかもう一度確認してください。LANケーブルが差し込まれている場合は、LANケーブルを抜いてください。

ストップ/リセット



2) ストップ/リセットスイッチを約 10 秒間押し続けます。

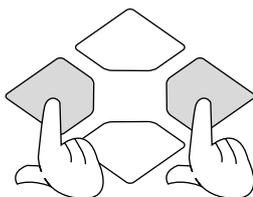
- ・ DHCP クライアント機能設定画面が表示されます。



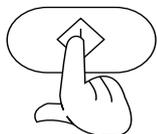
カーソル (点滅部)

3) DHCP クライアント機能を使用する場合は、4) へ進んでください。

DHCP クライアント機能を使用しない場合は、5) へ進んでください。



スタート/送信



4) 左右スイッチで "ハイ" にカーソル (点滅) を合わせ、スタート/送信スイッチを押します。

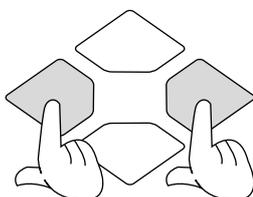
- ・ ネットワーク速度設定画面が表示されます。



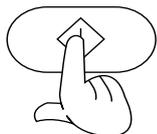
12)に進んでください。



DHCP クライアント機能を使用すると、本装置は DHCP サーバから IP アドレス、ゲートウェイアドレス、DNS サーバアドレスを自動的に獲得します。



スタート/送信



5) 左右スイッチで "イイエ" にカーソル (点滅) を合わせ、スタート/送信スイッチを押します。

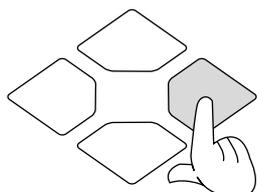
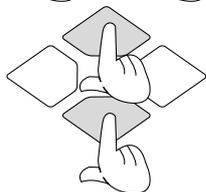
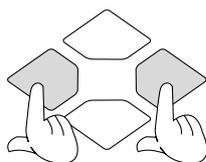
- ・ IP アドレス設定画面が表示されます。



カーソル (点滅部)



IP アドレス設定画面で左端にカーソルを動かし、さらに左スイッチを押すと DHCP クライアント機能設定画面に戻ることができます。



- 6) 左右スイッチでカーソル（点滅部）を左右に動かし、上下スイッチでカーソル位置の数値を上下させて、IPアドレスを設定します。

- 7) IPアドレスの設定が終了したら、カーソルを画面右端に動かし、さらに右スイッチを押します。

- ・ ネットワーク速度設定画面が表示されます。

			ネットマスク			24
2	5	5	.	2	5	5
.	2	5	5	.	2	5
.	0	0	0	.	0	0



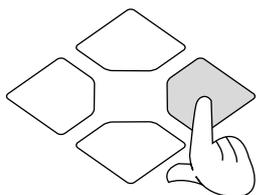
ネットマスク値設定画面で左スイッチを押すとIPアドレス設定画面に戻ることができます。

- 8) 上下スイッチでネットマスク値を上下させ、設定します。



ネットマスク値は次の表のように2 (192.0.0.0) ~ 30 (255.255.255.252) の範囲で設定してください。

No	ネットマスク値	No	ネットマスク値
2	192.000.000.000	17	255.255.128.000
3	224.000.000.000	18	255.255.192.000
4	240.000.000.000	19	255.255.224.000
5	248.000.000.000	20	255.255.240.000
6	252.000.000.000	21	255.255.248.000
7	254.000.000.000	22	255.255.252.000
8	255.000.000.000	23	255.255.254.000
9	255.128.000.000	24	255.255.255.000
10	255.192.000.000	25	255.255.255.128
11	255.224.000.000	26	255.255.255.192
12	255.240.000.000	27	255.255.255.224
13	255.248.000.000	28	255.255.255.240
14	255.252.000.000	29	255.255.255.248
15	255.254.000.000	30	255.255.255.252
16	255.255.000.000		

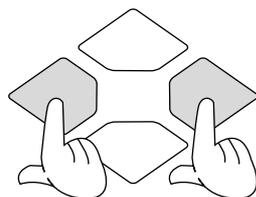


9) ネットマスク値の設定が終了したら、右スイッチを押します。

- ・ ゲートウェイアドレス設定画面が表示されます。

	ゲ	ー	ト	ウ	ェ	イ	ア	ド	レ	ス	
	0	0	.	0	0	0	.	0	0	0	.
	0	0	.	0	0	0	.	0	0	0	.
	0	0	.	0	0	0	.	0	0	0	.
	0	0	.	0	0	0	.	0	0	0	.

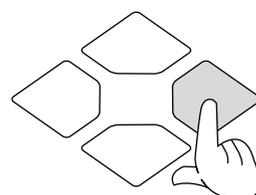
カーソル (点滅部)



10) 左右スイッチでカーソル (点滅部) を左右に動かし、上下スイッチでカーソル位置の数値を上下させて、ゲートウェイアドレスを設定します。



- ・ ゲートウェイを使用しない場合は、ゲートウェイアドレスを “ 000.000.000.000 ” に設定してください。
- ・ ゲートウェイアドレス設定画面でカーソルが画面左端にあるとき、さらに左スイッチを押すと、ネットマスク値設定画面に戻ることができます。

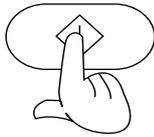


11) ゲートウェイアドレスの設定が終了したら、カーソルを画面右端に動かし、さらに右スイッチを押します。

- ・ ネットワーク速度設定画面が表示されます。

	ネ	ッ	ト	ワ	ー	ク	ソ	ク	ト		
			A	U	T	O					

スタート/送信



12) 上下スイッチでネットワーク速度を選択し、設定します。



- ・ ネットワーク速度値は次の4種類の中から選択します。
- ・ 通常は“ AUTO ”を選択し、ネットワーク環境により自動認識が正しく動作しない場合に固定の設定を選択してください。

1	AUTO	(自動)
2	10 BASE	ハーフ(固定)
3	100 BASE	ハーフ(固定)
4	100 BASE	フル(固定)

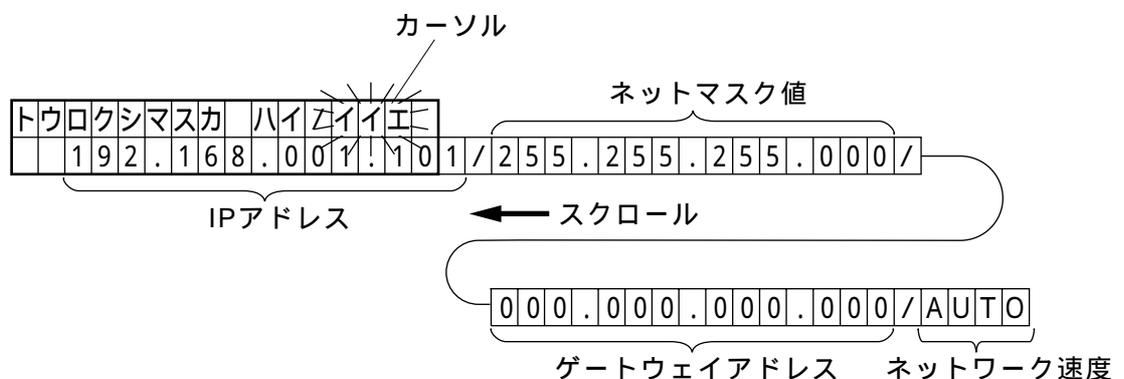
- ・ ネットワーク速度設定画面で左スイッチを押すと、下記の設定画面に戻ります。(DHCPクライアント機能の使用状況で戻る画面が異なります。)

DHCPクライアント機能を使用するを選択していた場合はDHCPクライアント機能設定画面に戻ります。

DHCPクライアント機能を使用しないを選択していた場合はゲートウェイアドレス設定画面に戻ります。

13) IPアドレス、ネットマスク値、ゲートウェイアドレス、ネットワーク速度の設定が終了したら、スタート/送信スイッチを押します。

- ・ 確認のダイアログが表示されます。



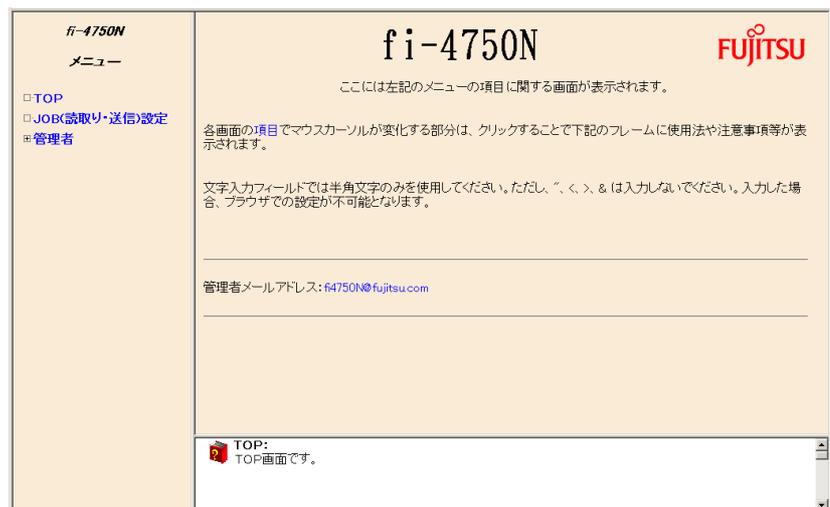
3.2 ネットワーク情報を設定する

サーバ情報の設定は、LAN に接続されているコンピュータからブラウザを使って行います。



サーバ情報の設定はネットワーク管理者またはその指導の下にある人が行ってください。

- 1) コンピュータでブラウザソフト (Netscape Navigator, Internet Explorer など) を起動します。
- 2) URL として本章の 3.1 で設定した IP アドレスを入力します。
(例 : http://192.168.1.101/)
 - ・ トップページが表示されます。

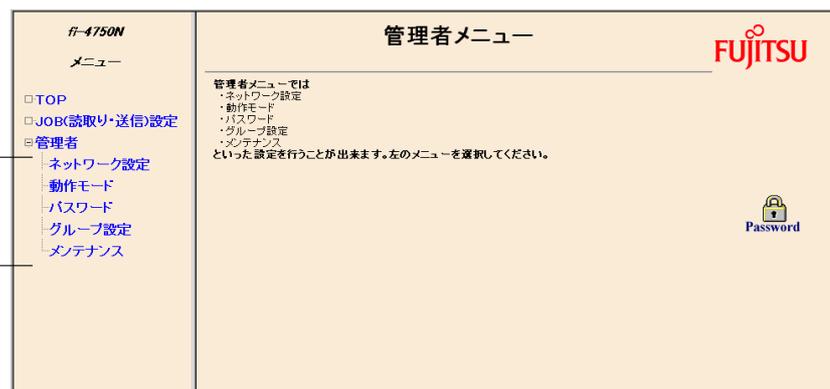


- TOP
- JOB (読取り・送信) 設定
- 管理者



- 3) メニューの “ 管理者 ” ボタンをクリックします。
 - ・ “ 管理者 ” ボタンの下に管理者用のメニューボタンが表示されます。

管理者用
メニューボタン



□ 管理者

ネットワーク設定

動作モード

パスワード

4) “ネットワーク設定” ボタンをクリックします。

- ・ ネットワーク設定画面が表示されます。

fi-4750N
メニュー

□ TOP
□ JOB(読取り・送信)設定
□ 管理者
 ■ ネットワーク設定
 ■ 動作モード
 ■ パスワード
 ■ グループ設定
 ■ メンテナンス

ネットワーク設定

設定終了後、更新をクリックしてください。設定を元に戻す場合はキャンセルをクリックしてください。

更新 キャンセル

[LAN設定]

DHCPで自動的に取得する
次のIPアドレスを使用する

アドレス設定

IPアドレス
 ネットマスク
 ゲートウェイアドレス
 DNSサーバ
DHCPで自動的に取得する設定になっている場合でも、DNSサーバが設定されている場合は、その設定が有効になります。

転送レート

[サーバ設定]

メールサーバ

[疎通確認(ping)]

ping送信先

設定終了後、更新をクリックしてください。設定を元に戻す場合はキャンセルをクリックしてください。

UP

ネットワーク設定:
ネットワークアドレスや、サーバIPアドレス等のネットワーク関連の設定を行いません。

5) [アドレス設定]のDNSサーバの項目を入力します。

DNS サーバ

DNSサーバを使用する場合、そのIPアドレスを入力します。



- ・ サーバ送信先ホストの設定において、ドメイン名を使用する場合はDNSサーバの設定が必要です。
- ・ DHCPで自動的に取得する設定の場合は、DHCPサーバからDNSサーバの設定を取得できます。DHCPサーバよりDNSサーバの設定が取得できない場合やDNSサーバを任意に設定したい場合は、DNSサーバを設定してください。

6) [サーバ設定]の項目を入力します。

メールサーバ

使用するメールサーバのIPアドレス又はドメイン名を入力します。

イメージファイルのメール添付や、FTP送信先のメール通知などのメール機能を使用する場合に設定します。



キャンセル ボタンをクリックすると、すべての項目が変更前の状態に戻ります。

更新

7) **更新** ボタンをクリックします。

- ・ 次の画面が表示されます。

LAN情報を更新しました。

更新した情報は、設定反映後に有効になります。

設定反映



設定反映

8) **設定反映** ボタンをクリックします。

- ・ 装置設定画面で設定した内容が有効になります。

以上で本装置の初期設定は終了です。

- ・ さらに詳しい管理者設定を行う場合は、“4章 用途に応じた設定と管理”を参照してください。
- ・ 実際にスキャナを使用して画像データの送信を行う場合は、“5章 JOBの登録”を参照してください。

4章 用途に応じた設定と管理

4.1 LAN 関連の設定を変更する

LAN 関連の設定を変更するときは、下記の手順により行います。

- TOP
- JOB (読取り・送信) 設定
- 田 管理者

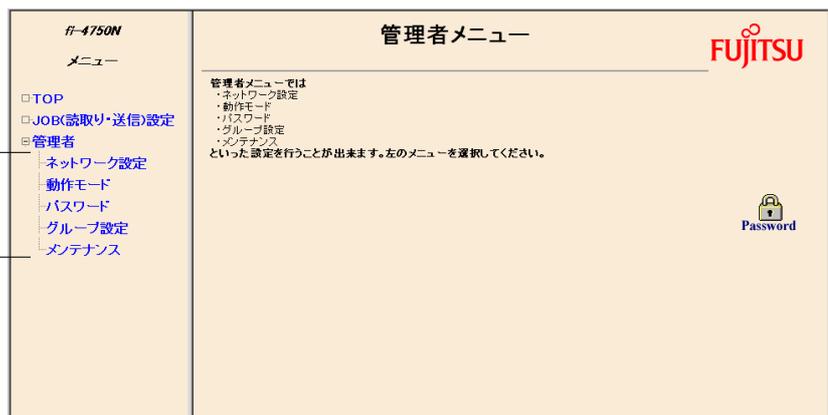


- 1) メニューの“ 管理者 ” ボタンをクリックします。
 - ・ “ 管理者 ” ボタンの下に管理者用のメニューボタンが表示されます。



パスワードが設定されているときは、パスワードの入力を求められますので入力してください。

管理者用
メニューボタン



- 管理者

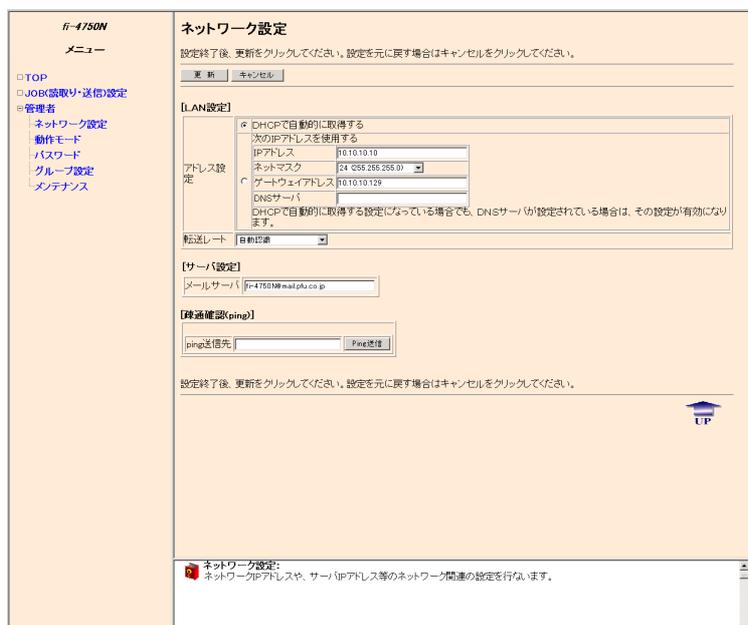
ネットワーク設定

動作モード

パスワード

- 2) “ ネットワーク設定 ” ボタンをクリックします。

- ・ ネットワーク設定画面が表示されます。



3) 各項目の設定を変更します。

[LAN 設定]

DHCP で自動的に取得する

本装置の IP アドレス、ネットマスク値、ゲートウェイアドレス、DNS サーバを DHCP サーバから取得するように設定します。



DHCP サーバが存在しない状態で設定すると通信ができなくなります。



ブラウザ上から "DHCP で自動的に取得する" に変更すると、ブラウザからアクセスできなくなる場合があります。この場合、ブラウザに URL アドレスを指定し直す必要があります。この設定はオペレータパネルから行うことをおすすめします。



"3章の 3.1 IP アドレスを設定する" を参照してください。

IP アドレス

DHCP で IP アドレスを自動的に取得しない場合に設定します。本装置の IP アドレスを設定します。



IP アドレスを 0.0.0.0 に設定すると通信ができなくなります。"DHCP で自動的に取得する" が設定されている場合は 0.0.0.0 が設定されていますのでご注意ください。



ブラウザ上から IP アドレスを変更すると、ブラウザからアクセスできなくなる場合があります。この場合、ブラウザに URL アドレスを指定し直す必要があります。この設定はオペレータパネルから行うことをおすすめします。



"3章の 3.1 IP アドレスを設定する" を参照してください。

ネットマスク

DHCP で IP アドレスを自動的に取得しない場合に設定します。本装置のネットマスク値を設定します。



"DHCP で自動的に取得する" が設定されている場合は 24 が仮に設定されていますのでご注意ください。



"3 章の 3.1 IP アドレスを設定する" を参照してください。

ゲートウェイアドレス

DHCP で IP アドレスを自動的に取得しない場合に設定します。ゲートウェイを使用する場合、その IP アドレスを入力します。

DNS サーバ

DNS サーバを使用する場合、その IP アドレスを入力します。必須項目ではありませんが、JOB 設定などで送信先やサーバの指定をノード名を使って行う際に必要になります。



DHCP で IP アドレスを自動的に取得する場合で DHCP サーバから DNS サーバは獲得できない場合や任意の DNS サーバを設定したい場合には、IP アドレスを入力してください。



"3 章の 3.1 IP アドレスを設定する" を参照してください。

転送レート

本装置が接続するネットワークの転送レートを選択します。



- 通常は“自動認識”を選択してください。
- “自動認識”が正しく動作しない場合は、HUBの仕様に合わせて固定の設定を選択してください。
- 転送レートの変更は次回の起動時から有効になります。
転送レート変更時は、必ず装置電源の再投入を行ってください。

[サーバ設定]

メールサーバ

本装置からメール発信するときに使用するメールサーバのIPアドレス又はサーバ名を入力します。

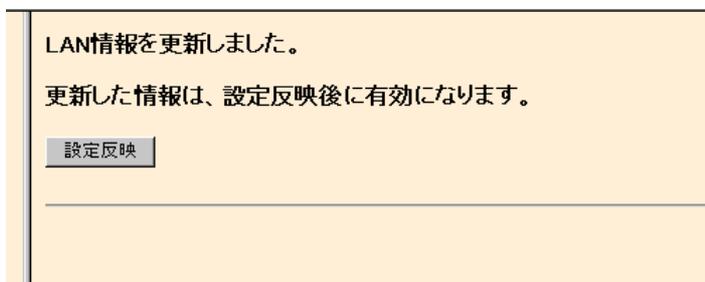


キャンセルボタンをクリックするとすべての項目が変更前の状態に戻ります。

更新

- 4) **更新** ボタンをクリックします。

- 次の画面が表示されます。



設定反映

- 5) **設定反映** ボタンをクリックします。

- 装置設定画面で設定した内容が有効になります。

4.2 Ping 送信により接続を確認する

Ping コマンドにより、本装置から IP 接続が成立しているかどうかの確認ができます。

接続確認は下記の手順により行います。

□ TOP

□ JOB (読取り・送信) 設定

⊕ 管理者

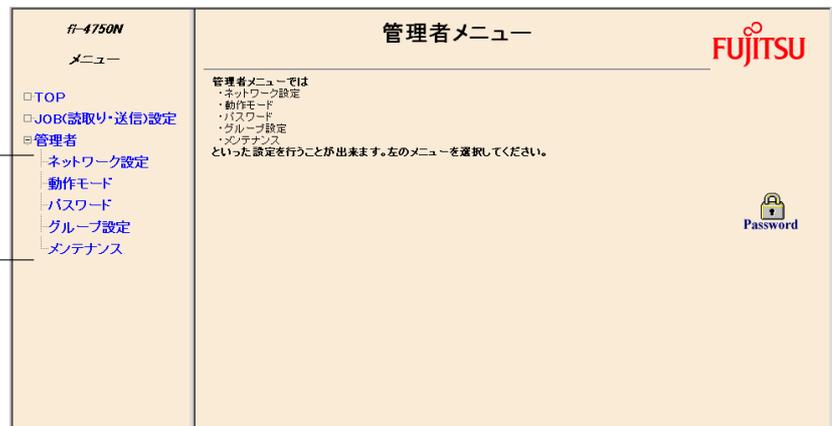


1) メニューの“管理者”ボタンをクリックします。

・“管理者”ボタンの下に管理者用のメニューボタンが表示されます。

パスワードが設定されているときは、パスワードの入力を求められますので入力してください。

管理者用
メニューボタン



⊕ 管理者

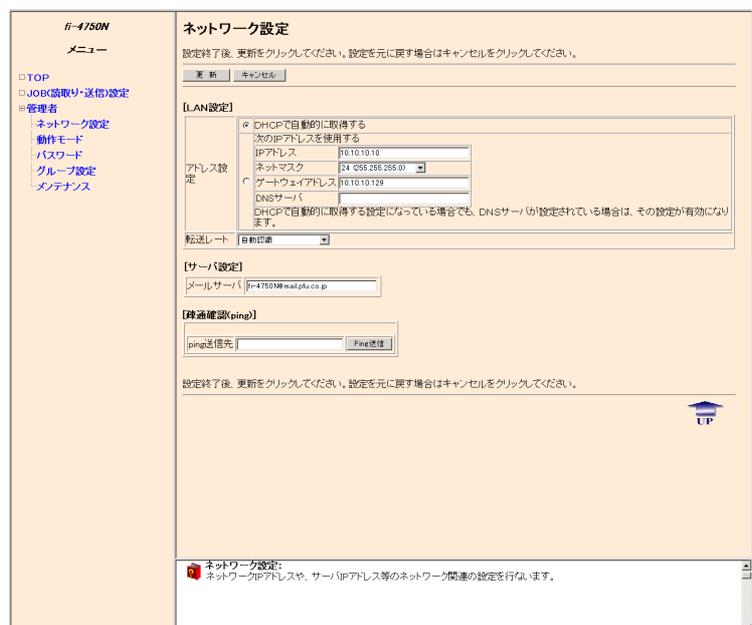
— ネットワーク設定

— 動作モード

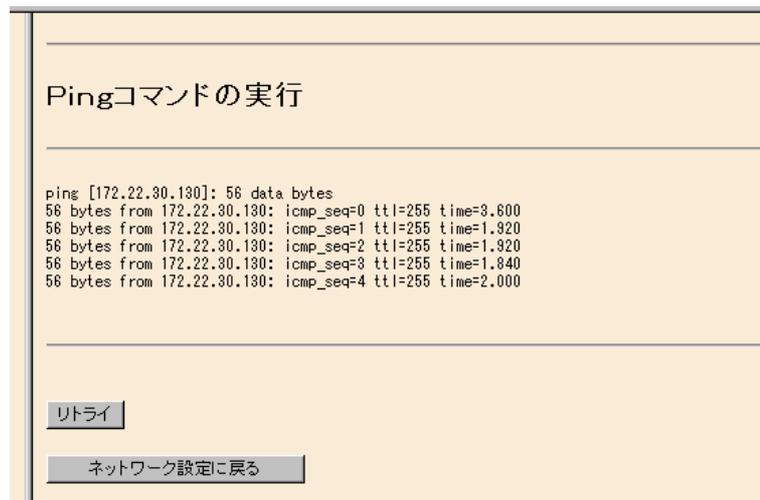
— パスワード

2) “ネットワーク設定”ボタンをクリックします。

・操作画面が表示されます。



- 3) “ Ping 送信先 ” に送信先の IP アドレスを入力します。
- 4) ボタンをクリックします。
 - ・ Ping 実行画面が表示され、Ping 送信結果が表示されます。



4.3 動作モードの設定を変更する

スキャナ装置の動作モードの設定を変更するときは、下記の手順により行います。

□ TOP

□ JOB (読取り・送信) 設定

▣ 管理者



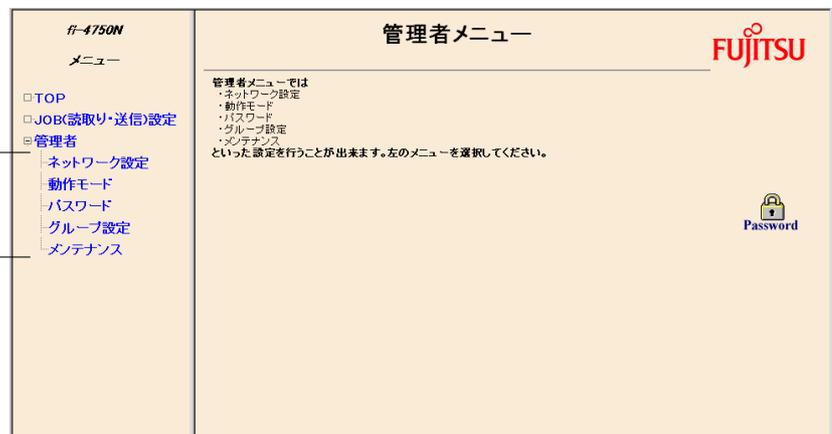
1) メニューの“ 管理者 ” ボタンをクリックします。

- ・ “ 管理者 ” ボタンの下に管理者用のメニューボタンが表示されます。



パスワードが設定されているときは、パスワードの入力を求められますので入力してください。

管理者用
メニューボタン



▣ 管理者

— ネットワーク設定

— 動作モード

— パスワード

— グループ設定

2) “ 動作モード ” ボタンをクリックします。

- ・ 動作モード設定画面が表示されます。



3) 各項目の設定を変更します。

管理者メールアドレス

装置のメール送信元アドレスを設定します。
この設定がなされていない場合は、通信処理が行えませんので必ず設定してください。
JOB 設定にて、送り元メール送信先が入力されない場合、こちらにエラー情報等が返信されます。

メール送信設定

JOB 設定にて設定されるメール JOB にて、送信を制限する場合に、こちらの設定を行います。グレー無効をチェックすると、グレーの設定が、非圧縮無効とすると、非圧縮での画像を送ることを制限できます。
これにより、お使いの環境に応じて、大容量のメールを送ることを防止できます。

節電モードスタンバイ時間

何も操作を行わないとき、節電モードに入るまでの時間を選択します。
節電モード中はスキャナ装置全体が省電力モードへ移行します。このとき、表示 LCD の表示およびバックライトが消灯しますが、オペレータパネルのスイッチ操作もしくは ADF への原稿セットで節電モードから復帰し、装置が使用可能な状態になります。



購入時は 10 分に設定されています。

送信確認

原稿の読取りを開始する前に送信確認のメッセージを表示するかしないか選択します。
“する”を選択したときは、すべての読取り・送信においてオペレータパネル上で送信確認をうながし、うっかり誤操作を防止することができます。

メールアドレスチェック

メールアドレスチェックをする場合、内部のメールアドレスを識別するためのドメイン名を入力します。
送信先のメールアドレスのドメイン名がここに入力したドメイン名と異なる場合、原稿の読取りを開始する前に外部送信確認のメッセージが表示されます。
警告だけでなく、送信自体を禁止したい場合には、送信不可を選択してください。
また、この項目が空白の場合、外部送信確認のメッセージは表示されません。

フラットベッド裏当て設定

スキャナのフラットベッドの原稿押さえパッドの色に応じて、“白”または“黒”を選択します。



この原稿押さえ色の設定は、実際にイメージスキャナに取付けられている原稿押さえパッドの色を設定してください。

原稿押さえパッドはイメージスキャナ工場出荷時は黒がセットされています。この設定が“黒”のとき、フラットベッド読取り時、原稿のサイズを装置が自動的に認識して最適な読取りを行います。



フラットベッドの原稿押さえ色の変更についてはfi-4750N イメージスキャナ オペレータガイドを参照してください。

デフォルト読取り面設定

電源投入時、片面モードまたは両面モードのどちらをデフォルトにするかを設定します。



JOBの実行終了時やJOB選択の切換え時にも、ここでデフォルトとして設定したモードに戻ります。

キャンセルボタンをクリックするとすべての項目が変更前の状態に戻ります。

追加モードタイムアウト時間設定

追加モード読み取り時の送信待ち状態のタイムアウト時間を設定します。



タイムアウト時間を長く設定した場合は、サーバ側がタイムアウトを発生し送信が行えなくなる場合があります。



購入時は1分に設定されています。



4) **更新** ボタンをクリックします。

- ・動作モード設定画面で設定した内容が有効になります。

4.4 パスワードを設定する

本装置はネットワーク上に対していくつかのポートサービスを提供しています。

本装置はネットワーク上の誰からでもアクセスできるため、パスワードが設定されていないと設定内容が不本意に変更される可能性があります。

パスワードの設定は下記の手順により行います。



パスワードは必ず設定してください。

TOP

JOB (読取り・送信) 設定

管理者



1) メニューの“ 管理者 ” ボタンをクリックします。

・ “ 管理者 ” ボタンの下に管理者用のメニューボタンが表示されます。



パスワードが設定されているときは、パスワードの入力を求められますので入力してください。

管理者用メニューボタン

管理者メニュー

管理者メニューでは
・ネットワーク設定
・動作モード
・パスワード
・グループ設定
・メンテナンス
といった設定を行うことが出来ず、左のメニューを選択してください。

管理者:
ネットワーク関連や動作モード、サーバパスワード等を設定する管理者用メニューです。

□ 管理者

- ネットワーク設定
- 動作モード
- パスワード
- グループ設定
- メンテナンス

2) “パスワード” ボタンをクリックします。

- ・ パスワード設定画面が表示されます。

3) “新しいログインパスワード” のところにパスワードを入力します。



- ・ パスワードは半角の英数字 16 文字以内で入力してください。
- ・ パスワードに「”」、「<」、「>」、「&」およびスペースを使用しないでください。使用した場合、ブラウザからの設定ができなくなります。
- ・ パスワードを削除する場合は、パスワード入力欄両方の伏せ字 (* * *) を削除して空白にします。

4) “ログインパスワードの確認” のところに手順 3) で入力したのと同じパスワードを入力します。

5) JOB 設定もパスワードで保護する場合、“JOB 設定セキュリティ有効” チェックボックスにチェック () を入れます。

更新

6) 更新 ボタンをクリックします。

ログインパスワードを更新しました。
以降の処理では、更新した情報を有効なものとします。

これでパスワードの設定は終了です。



設定したパスワードは忘れないようにしてください。忘れた場合は、各画面にアクセスすることができなくなります。



パスワードを忘れた場合の処置については“8.4 困ったときには”を参照してください。

パスワードが設定されていると、管理者メニューを表示しようとしたときにパスワードの入力を求められます。

処理を続行するためにはログインパスワードの入力が必要です。

ログインパスワードを入力してください

ログインパスワード

実行

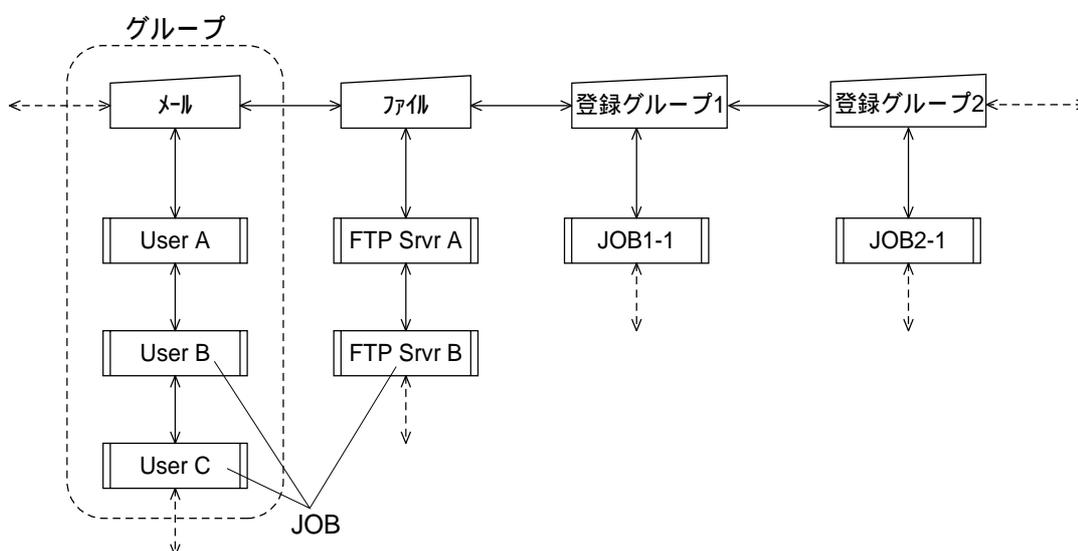


- ・ パスワード設定画面で“JOB 設定セキュリティ有効”のチェックボックスにチェックを入れてある場合、メニューの“JOB (読取り・送信) 設定” ボタンをクリックしたときにもパスワードの入力を求められます。
- ・ パスワード入力によって操作の制限が解除される時間は 10 分間です。それ以降の操作では改めてパスワードの入力を求められます。
- ・ パスワード入力によって操作の制限が解除される 10 分以内に、強制的にパスワードの入力を求める状態にしたいときは、管理者メニュー画面上の Password アイコンをクリックしてください。管理者用メニューにアクセスする際に、再度パスワード入力を求められるようになります。

4.5 グループの構成を変更する

本装置はオペレータパネルを前提とした運用ができるよう、オペレータパネルメニュー（グループおよびJOB）が2次元配列になっています。このJOB配列をオペレータパネルの選択スイッチ（十字キー）で選択し、業務を実行します。

このマニュアルでは、2次元仮想配列における縦の配列をグループと呼んでおり、グループの構成単位はJOBと呼びます。グループは横に追加して並べることができ、JOBは縦に追加して増やすことができます。



本装置では、グループに関する設定をグループ設定メニューで行い、JOBに関する設定をJOB（読取り・送信設定）設定メニューで行います。

グループ設定では、運用に合わせてグループの追加、変更、削除を行うことができます。



登録可能なグループの数は、購入時のデフォルトの2グループも含めて最大20グループまでです。



JOB設定に関しては、“5章 JOBの登録”を参照してください。

- TOP
- JOB (読取り・送信) 設定
- ▣ 管理者



- 1) メニューの“ 管理者 ” ボタンをクリックします。
 - ・ “ 管理者 ” ボタンの下に管理者用のメニューボタンが表示されます。



パスワードが設定されているときは、パスワードの入力を求められますので入力してください。

管理者用
メニューボタン

管理者メニュー

管理者メニューでは
・ネットワーク設定
・動作モード
・パスワード
・グループ設定
・メンテナンス
といった設定を行うことができます。左のメニューを選択してください。

パスワード

▣ 管理者

- ネットワーク設定
- 動作モード
- パスワード
- グループ設定
- メンテナンス

- 2) “ グループ設定 ” ボタンをクリックします。

グループ設定

グループの追加、設定変更および削除が行えます。

グループの追加 >>

No.	1	2
グループ名	メール	ファイル
操作	編集	編集 削除

グループ設定:
グループの設定を追加・変更することができます。

グループの追加 >>

- 3) 新しいグループで追加登録する場合、
 グループの追加 >> ボタンをクリックします。



- ・すでに登録済みのグループの設定内容を変更するときは、そのグループの“操作”欄の **編集** ボタンをクリックしてください。
- ・グループを削除するときは、そのグループの“操作”欄の **削除** ボタンをクリックしてください。
- ・No.1のグループを削除することはできません。

- 4) “[グループ名]”を入力します。

ここでは、NewGroupと入力します。



- ・オペレータパネルのグループ欄には、ここで入力した名前が表示されます。
- ・全角文字を使用するとオペレータパネルに文字化けして表示されますので、半角のカタカナまたは英数字を使用してください。
 「”」_フ「<」_フ「>」_フ「&」およびスペースは使用できません。
- ・オペレータパネルに表示されるのは12文字までです。

- 5) “[サービス設定]”で、そのグループ内のJOBが利用できる送信サービスを選択します。



複数の選択が可能です。

6) 設定が終了したら **登録** ボタンをクリックします。

- ・ 設定内容が登録されます。

fi-4750N
メニュー

- TOP
- JOB(読取り・送信)設定
- ☑ 管理者
 - ネットワーク設定
 - 動作モード
 - パスワード
 - グループ設定
 - メンテナンス

グループ設定

グループの追加、設定変更および削除が行えます。

グループの追加 >>

No.	1	2	3
グループ名	メール	ファイル	NewGroup
操作	編集	編集 削除	編集 削除

グループ設定:
 グループの設定を追加・変更することができます。



登録可能なグループの数は、購入時のデフォルトの2グループも含めて最大20グループまでです。

4.6 設定情報を待避・復元する

本装置の設定情報をファイルに保存し、待避しておく、装置の修理、交換などが必要になったときに保存しておいた設定情報を復元できます。

メンテナンス画面へのアクセス

□ TOP

□ JOB (読取り・送信) 設定

☒ 管理者



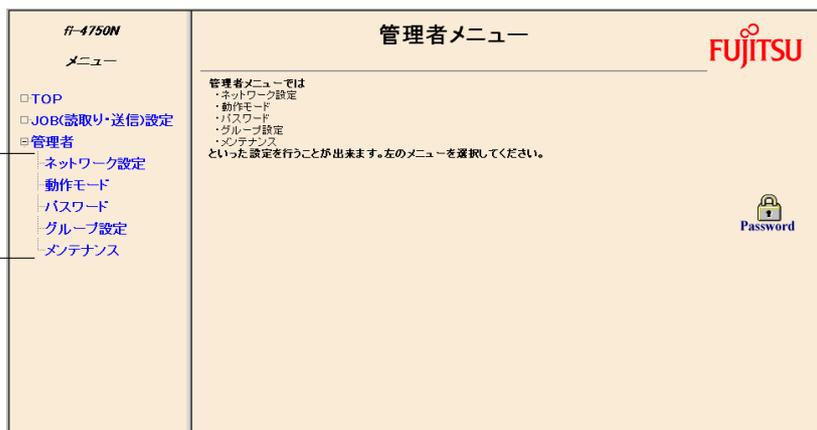
1) メニューの“ 管理者 ” ボタンをクリックします。

・ “ 管理者 ” ボタンの下に管理者用のメニューボタンが表示されます。



パスワードが設定されているときは、パスワードの入力を求められますので入力してください。

管理者用
メニューボタン



☒ 管理者

— ネットワーク設定

— 動作モード

— パスワード

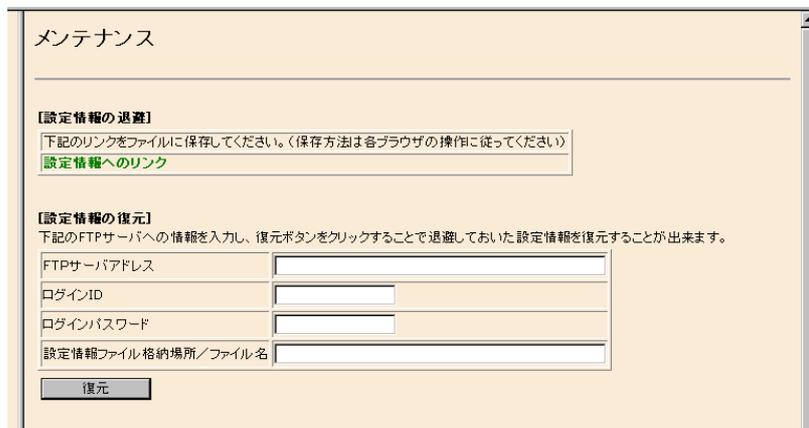
— グループ設定

— メンテナンス



2) “ メンテナンス ” ボタンをクリックします。

・ メンテナンス画面が表示されます。



設定情報の待避

メンテナンス画面の“設定情報 (allconfig.dat)”をブラウザ機能を使ってファイルに保存します。



- Netscape Navigator や Internet Explorer を使用している場合、マウスの右ボタンをクリックして、“ファイルに保存”を選んでください。
- ネットワーク設定の内容を変更した後、それ以前に待避した設定情報で復元すると、ブラウザからアクセスできなくなる可能性があります。
ネットワーク設定の内容を変更した場合は、設定情報の待避を再度行ってください。

設定情報の復元

- 1) メンテナンス画面で、“[設定情報の復元]”の各項目を設定します。

FTP サーバアドレス

復元する設定情報（先に待避したもの）を格納した FTP サーバの IP アドレスを入力します。

ログイン ID

復元する設定情報（先に待避したもの）を格納した FTP サーバにログインする場合のログイン ID を入力します。

ログインパスワード

復元する設定情報（先に待避したもの）を格納した FTP サーバにログインする場合のパスワードを入力します。

設定情報ファイル格納場所 / ファイル名

設定情報を格納してある FTP パスに続けて復元する設定情報のファイル名を入力します。



- ・ 復元する設定情報には装置の IP アドレスなどの LAN 設定も含まれます。復元の際は同じ装置（同じ LAN 設定）の設定情報を使用してください。他の装置の設定情報を使用すると IP アドレスが重複するなどの不具合が生じ、正常に動作しません。
- ・ 復元は本装置から FTP サーバ上の待避ファイルに移入（get）することで行います。
- ・ 不明な点は FTP サーバ管理者に問い合わせてください。



2) **復元** ボタンをクリックします。

- ・ 保存してあった設定情報が復元されます。

4.7 装置の状態を見る

本装置についての情報を表示することができます。

- TOP
- JOB (読取り・送信) 設定
- ▣ 管理者



- 1) メニューの“ 管理者 ” ボタンをクリックします。
 - ・ “ 管理者 ” ボタンの下に管理者用のメニューボタンが表示されます。



パスワードが設定されているときは、パスワードの入力を求められますので入力してください。

管理者用
メニューボタン

□ 管理者

- ネットワーク設定
- 動作モード
- パスワード
- グループ設定
- メンテナンス



- 2) “ メンテナンス ” ボタンをクリックします。
 - ・ メンテナンス画面が表示されます。

[ファームウェアバージョン]

現在のファームウェアのバージョンが確認できます。

[残りメモリー容量 (%)]

JOB 設定情報を格納するメモリの残量が確認できます。



- ・ メモリ残量が少なくなると JOB の登録ができなくなります。その際は不要の JOB を削除するなどして対応してください。
- ・ 購入時にはグループ用のメモリがすでに確保されていますので残量は 100% ではありません。
- ・ グループを追加、削除してもメモリ容量は変化しません。
- ・ メモリの使用量は登録する JOB の設定内容により異なります。
JOB は最大 1000 件、ワーストケースでも 12 件以上登録可能です。
ここでいうワーストケースとは、JOB 設定の画面ですべての入力可能領域に文字を最大まで入力（例：メールアドレスを最大 12899 文字まで入力、メールコメントを最大 200 文字まで入力、など）した場合です。

[パッド枚数カウンタ]

現在のパッドの使用状況が確認できます。

[ピックローラ ASSY 枚数カウンタ]

現在のピックアップ ASSY の使用状況が確認できます。

[ADF 読取り枚数]

現在の読取り枚数の確認ができます。

[システムログ]

システム運用状況が確認できます。

4.8 消耗品カウンタをリセットする

本装置には、定期交換の必要な部品（消耗品）が使われております。

1. パッド （交換の目安：10万枚毎）
2. ピックローラ ASSY（交換の目安：20万枚毎）

上記部品の枚数カウンタ値は管理者メニュー内、メンテナンスのページに表示される

- ・ パッド枚数カウンタ
- ・ ピックローラ ASSY 枚数カウンタ
- ・ ADF 読取り枚数

の項目で確認できます。

ADF 読取り枚数は、本装置の読取り累積枚数を表しています。このカウンタはリセットすることが出来ません。

消耗品（パッド及びピックアップローラ ASSY）の枚数カウンタが所定の読取り枚数に達している場合は該当する消耗品を交換し、カウンタのリセット操作を行ってください。（消耗品カウンタは500枚単位でカウントアップします。）



消耗品の手配および部品交換に関しては、fi-4750N イメージスキャナ オペレータガイドを参照してください。

消耗品カウンタのリセット操作は以下の手順で行います。

- 1) ブラウザを立ち上げ、以下の URL にアクセスします。

[http://\(本装置のIPアドレス\)/resetstart.html](http://(本装置のIPアドレス)/resetstart.html)

- ・ カウンタリセット画面が表示されます。

寿命カウンタをリセットします。

リセットボタンをクリックすると、各寿命カウンタ値0にリセットします。

(注)寿命カウンタのリセットはパッド・ピックアップローラのそれぞれの交換後に行なってください。

パッド寿命カウンタのリセット処理

ピックアップローラASSY寿命カウンタのリセット処理



メニュー画面からのリンクは設けてありません。

リセット

- 2) パッド交換時は、“パッド寿命カウンタのリセット処理”のリセットボタンを、ピックアップ ASSY 交換時は、“ピックアップ ASSY 寿命カウンタのリセット処理”のリセットボタンをクリックします。
 - ・しばらくすると、“カウンタのリセットを終了しました。”と表示されます。

これで消耗品カウンタのリセット操作は終了です。



カウンタリセット画面からトップページへのリンクはありません。再度 URL を入力してください。

5章 JOBの登録

スキャナからデータを送信する場合、まず送信先や送信方法などの情報を本装置にJOBとして登録しておく必要があります。JOBの登録は、LANに接続されているクライアントからブラウザを使用して行います。



JOBについて

本装置では、読取った画像データの送信先や読取り設定および使用するサービス（MAIL送信、FTP送信、NetworkTWAIN連携）をひとつの定義体（JOB）として、本装置内部に登録します。JOBはあらかじめ管理者が作成したグループの下に登録します。運用の際は、登録したグループおよびJOBをスキャナ装置のオペレータパネルで選択/送信することで各処理を実行します。

サービスとは

サービスは読取った画像データの送信方法またはアプリ連携方法を示します。

使用者はJOB登録の際、その用途に応じサービスを選択します。各グループにどのサービスのJOBが登録可能かは、管理者がグループを作成する際に指定します。サービスには以下の2つがあります

メール： 読取った画像をメール添付して送信する場合に選択します。



ファイル： 読取った画像データをFTPサーバにファイル転送する場合に選択します。またNetwork TWAINに連携する場合にもこのサービスを選択します。



5.1 Top ページにアクセスする

- 1) コンピュータでブラウザソフト（Netscape Navigator, Internet Explorer など）を起動します。
- 2) TOP ページの URL を入力します。
 - ・ TOP ページが表示されます。



- ・ TOP ページの URL については管理者に問い合わせてください。
- ・ ページが表示されないときは、スキャナの電源が入っているか確認してください。

- 3) メニューの“JOB（読取り・送信）設定” ボタンをクリックします。

TOP

JOB (読取り・送信) 設定

管理者



- ・ JOB 設定のグループ選択画面が表示されます。



この画面が表示されず、パスワードの入力を求められた場合、管理者がJOB設定の登録を制限していますので、管理者に相談してください。

5.2 メールJOBを登録する

メールJOB機能

メールJOBでは、読取った画像データをTIFF又はPDF形式（シングルページまたはマルチページ）の添付ファイルとしてメール送信します。また、メールサーバ側で取扱うメールサイズを制限している場合に、メールを分割して送信することが可能です。JOBにメールの題名やコメントを登録しておくことで、定型業務をよりわかりやすく運用できます。

注意

メール送信機能によりデータを送信するときは、管理者に相談し、データ量の大きいものは送信しないようにしてください。メールは受信されるまでメールサーバ内に蓄えられます。メール分割する、しないにかかわらず、データ量の合計が大きいメールを送信すると、メールサーバの保存領域を圧迫します。その結果、送信先のメールクライアントだけでなく同じメールサーバを利用している他のメールクライアントのメール送受信に負荷を与える恐れがあります。

選択

- 1) JOB設定のグループ選択画面で、サービスとしてメールを指定できるグループの **選択** ボタンをクリックします。

- ・ JOB選択画面が表示されます。



- ・ メールJOBが登録可能なグループには、サービスの欄に  のアイコンが表示されています。
- ・ 出荷時には、メールJOB専用のグループとして“メール”というグループが設定されています。
- ・ 各グループでどのサービスを指定できるかの設定は管理者が行います。

JOB設定の追加 >>

2) JOB設定の追加 >> ボタンをクリックします。

- ・ JOB編集画面が表示されます。

3) “JOB名”を入力します。



- ・ スキャナのオペレータパネル上で送信先を選択するとき、ここで設定した名前が表示されます。
- ・ 全角文字を使用するとオペレータパネルに文字化けして表示されますので、半角のカタカナまたは英数字を使用してください。
- ・ 「 ” 」 「 < 」 「 > 」 「 & 」 およびスペースは使用できません。
- ・ オペレータパネルに表示されるのは11文字までです。

メール

4) “[サービス]”の項目で“メール”のラジオボタンをクリックします。

- ・ メール送信用の設定項目が表示されます。



- ・ サービスに“メール”のラジオボタンが表示されない場合は、選択したグループでメールJOBの登録ができないように設定されています。
- ・ 各グループでどのサービスを指定できるかの設定は管理者が行います。

5) “《メール設定》”の各項目を設定します。

題名:

送信するメールの題名を入力します。



- ・ 題名を何も設定していない場合は、“send Image”という題名が自動的につけられます。
- ・ 全角、半角にかかわらず最大40文字です。

宛先メールアドレス(: 入力必須)

送信するメールの宛先のメールアドレスを入力します。(例: taro@fujitsu.co.jp)



- ・ メールアドレスを“,”(カンマ)又は改行で区切って複数入力すると、同報メールを送信することができます。
- ・ メールアドレスは“,”(カンマ)および改行も含め最大12899文字です。
(注)改行は2文字として計算します。

送り元メールアドレス(: 入力必須)

何らかの理由で送信が失敗した、またはメールサーバに拒否された場合に通知を行う先のメールアドレスを入力します。

コメント

送信するメールにつけるコメントを入力します。



- ・ 半角・全角にかかわらず最大200文字です。
- ・ コメントが不要の場合は特に入力する必要はありません。

・メール分割

“有り”を選択するとメール分割を行います。分割を指定すると1つのメールが約60KBになります。



- ・メールは送信先に届くまでに複数のメールサーバを通ります。途中のサーバにおいて、取扱うメールのサイズに上限を設定してある場合、それを超えるサイズのメールが送信先に届かない場合があります。特に社外などへメール送信でデータを送る場合は、メール分割を行うことを推奨します。
- ・メールソフトによっては、メール分割に対応していなかったり、対応が不完全であったりする場合があります。分割したメールを送信した場合は必ず送信先でデータを復元できたか確認してください。
- ・メールソフトによっては、分割されたメールの最後（10分割されたメールならば10/10個目のメール）をクリックして結合させないとうまく結合されない場合があります。分割された最後のメッセージサブジェクトには < Last > という文字が入りますので、このメールをクリックして結合させてください。

6) “《イメージファイル形式》”の各項目を設定します。

ファイル形式：

添付するファイルのファイル形式を選択します。

・マルチページ TIFF モード

このモードでは、読込んだデータを1つのマルチページTIFF形式ファイルとしてメールに添付します。メールの受信者は、複数ページの画像データを1つの添付ファイルで受け取ることとなります。

- ・ シングルページ TIFF モード

このモードでは、読込んだ画像の1面を1つのTIFF形式ファイルとしてメール添付します。(1面あたり1つのメールが送信されます。)例えば、両面モードで10枚の原稿を読込んだ場合は、20通のメールが送信されます。(1通に1面のTIFFファイルが添付されます)

- ・ マルチページ PDF モード

このモードでは、読込んだ画像を1つのPDF形式のファイルとしてメール添付します。メールの受信者は複数ページの画像データを1つの添付ファイルで受け取ることとなります。

- ・ シングルページ PDF モード

このモードでは、読込んだ画像の1面を1つのPDF形式のファイルとしてメール添付します。(1面あたり1つのメールが送信されます。)例えば、両面モードで10枚の原稿を読込んだ場合は、20通のメールが送信されます。(1通に1面のPDFファイルが添付されます)



メール分割を行うと送信されるメールの数は上記よりも多くなります。

ファイル圧縮形式：

MH/MR/MMR 圧縮または非圧縮を指定します。



“かんたん読取り設定”で“グレー”を選択すると、ファイル圧縮形式は自動的に非圧縮に設定されます。



“1章の1.3 画像データのサイズについて”を参照してください。

注意

- ・ “かんたん読取り設定” で “グレー” が選択されている場合、大量の原稿を読取らせる場合、またはデータ量が大きくなるようないくつかの要因が重なる場合は、送信するデータ量にネットワークが対応できるか管理者に相談してから原稿の読取りを行ってください。
過度に大量のデータを送信するとネットワークに負担がかかり、サーバがダウンするなどの恐れがあります。
- ・ メール送信機能によりデータを送信するときは、管理者に相談し、データ量の大きいものは送信しないようにしてください。
メールは受信されるまでメールサーバ内に蓄えられます。メール分割するしないにかかわらず、データ量の合計が大きいメールを送信すると、メールサーバの保存領域を圧迫します。その結果、送信先のメールクライアントだけでなく、同じメールサーバを利用している他のメールクライアントのメール送受信に負荷を与える恐れがあります。
- ・ 本装置はネットワークに接続する装置であり、FAX等に比べデータの秘匿性が低くなります。特に機密を要する書類を送信する場合は注意してください。

7) 読取る原稿に応じて、“[かんたん読取り設定]” の原稿タイプを選択します。

- ・ 出力イメージタイプ：二値

原稿タイプ：

文字 + 写真

ひとつの原稿に写真や文字混在する原稿を読取る場合に使用します。

文字

文字のみの原稿やOCR等のソフトウェアを使用する場合に選択します。



OCRで利用する場合は、OCR等に適した解像度に変更する必要があります。

写真

写真を読取る場合に選択します。

- ・ 出力イメージタイプ：グレー（原稿タイプ：すべて）
画像データとして多値データが必要な場合に
選択します。画像サイズが大きくなります。



かんたん読取り設定について

- ・ かんたん読取り設定を利用すると、原稿に応じた最適な読取り設定値をかんたんに設定することができます。
- ・ 読取りの設定を変更するとき、設定変更までに多少時間がかかる場合があります。設定が変更されると画面が先頭にスクロールします。
- ・ [読取りカスタマイズ]のチェックボックスをチェックすると、使用用途に応じ、かんたん読取り設定で選択した設定をカスタマイズすることができます。
- ・ 読取り設定のカスタマイズは、現在かんたん読取り設定で選択している読取り方法に対するカスタマイズです。カスタマイズが設定されている状態で読取り方法を変更するとカスタマイズ内容はクリアされます。



設定のカスタマイズについては、“6章 読取り設定をカスタマイズする”を参照してください。



- 8) 設定が終了したら **登録** ボタンをクリックします。
- ・ 設定内容が登録され、JOB 選択画面が表示されます。



行-4750N
メニュー

□ TOP
□ JOB(読取り・送信)設定
□ 管理者
 ネットワーク設定
 動作モード
 パスワード
 グループ設定
 メンテナンス

JOB選択 <グループ:メール>

戻る

送信設定の追加を行なう場合は追加または複製ボタンを押下します。
また変更を行ないたい場合は編集ボタンを、削除したい場合は削除ボタンを押下します。

JOB設定の追加 >>

操作	No.	指定サービス	JOB名	詳細(読取りモード: E-mailアドレス、FTPサーバ、ファイル格納位置等)
編集 削除 複製	01	<input checked="" type="checkbox"/>	ゆめ	文字 + 写真モード soumu@fujitsu.co.jp
編集 削除 複製	02	<input checked="" type="checkbox"/>	シンク	文字 + 写真モード jin@fujitsu.co.jp



- ・ JOB 選択の表に先程登録したものが追加されています。
- ・ メモリが足りないと JOB を追加登録できません。その場合、不要な JOB を削除するなどしてメモリを確保してから JOB 登録してください。

これでメール JOB の登録は終了です。



登録した JOB を使用して送信を行うときの手順については、“7章の7.1 読取ったデータを送信する”を参照してください。

5.3 ファイルJOBを登録する

ファイルJOBについて

ファイルJOBでは、読取った画像データをTIFF又はPDF形式（シングルページまたはマルチページ）のファイルとしてFTPサーバに送信します。FTPは大量のデータを高速に送信するのに有効なプロトコルです。また、ファイルJOBにメールの送信先を登録しておけば、データ格納先へのリンクがメールで送信されます。メールJOBと異なり、ユーザはメールサーバに負荷をかけずにデータを取得することができます。



ファイル送信にはFTPというファイル転送方式を使用します。ファイル送信を実行するには、ファイル送信先のコンピュータにFTPサーバ機能が必要です。



1) 送信設定のグループ選択画面で、サービスとしてファイルを指定できるグループの **選択** ボタンをクリックします。

- ・ JOB 選択画面が表示されます。



- ・ ファイルJOBが登録可能なグループにはサービスの欄に **FTP** のアイコンが表示されています。
- ・ 工場出荷時にはファイルJOB専用のグループとして“ファイル”というグループが設定されています。
- ・ 各グループでどのサービスを指定できるかの設定は管理者が行います。

JOB設定の追加 >>

2) JOB設定の追加 >> ボタンをクリックします。

- ・ JOB編集画面が表示されます。

3) “JOB名”を入力します。



- ・ スキャナのオペレータパネル上で送信先を選択するとき、ここで設定した名前が表示されます。
- ・ 全角文字を使用するとオペレータパネルに文字化けして表示されますので、半角のカタカナまたは英数字を使用してください。
- ・ 「 ” 」、 「 < 」、 「 > 」、 「 & 」 およびスペースは使用できません。
- ・ オペレータパネルに表示されるのは11文字までです。

ファイル (FTP)

4) “[サービス]”の項目で“ファイル(FTP)”のラジオボタンをクリックします。

- ・ ファイルJOB用の設定項目が表示されます。



- ・ サービスに“ファイル(FTP)”のラジオボタンが表示されない場合は、選択したグループでファイルJOBの登録ができないように設定されています。
- ・ 各グループでどの送信方法を指定できるかの設定は管理者が行います。

5) “《ファイル (FTP) 設定》” の各項目を設定します。

FTPサーバ (: 入力必須)

送信先のFTPサーバ (コンピュータ) のIPアドレスを入力します。(例 : 192. 168. 1. 100)

ユーザ名 (: 入力必須)

送信先のFTPサーバに登録されているユーザ名を入力します。

パスワード

送信先のFTPサーバに登録されているパスワードを入力します。

ファイル格納位置 (: 入力必須)

ファイルを格納するフォルダ名 (ディレクトリ名) を入力します。



- ・ “ FTPサーバ ”、 “ ユーザ名 ”、 “ パスワード ”、 “ ファイル格納位置 ” について不明な点はFTPサーバ管理者に問い合わせてください。
- ・ ファイル格納位置を示すパス名に日本語の文字が含まれていると、メールアプリケーションによっては、送信されたメールに含まれるリンクが途中で切れ、リンクとして機能しなくなることがあります。

ファイル名

転送したデータに任意のファイル名をつける場合に入力します。



- ・ ファイル名を何も設定していない場合は、ランダムなファイル名が自動的につけられます。
- ・ ファイル名はMAX10文字までの半角英数字で指定します。
- ・ 「 ” 」 「 < 」 「 > 」 「 & 」 およびスペースは使用できません。



実際につけられるファイル名については “ 5.4 ファイル名について ” を参照してください。

ファイル上書き保存

格納位置に同一名のファイルがあった場合の処理を選択します。



- ・ “する” を選択すると、上書き保存されます。
- ・ “しない” を選択すると、識別用の数字が入ったファイル名が自動的につけられます。識別用数字の桁数（3桁～8桁）を選択してください。

TWAINドライバ使用

“しない” を選択します。



TWAINドライバの使用については“5章の5.4 Network TWAIN連携JOBを登録する”を参照してください。

題名：

ファイルの送信を通知するメールの題名を入力します。



- ・ 題名を何も設定していない場合は、“send Image” という題名が自動的につけられます。
- ・ 全角、半角にかかわらず最大40文字です。

宛先メールアドレス：

ファイルの送信を通知するメールの宛先のメールアドレスを入力します。



宛先メールアドレスが設定されていない場合は、メールは送信されません。

送り元メールアドレス

何らかの理由で送信が失敗した、またはメールサーバに拒否された場合に通知を行う先のメールアドレスを入力します。

コメント：

ファイルの送信を通知するメールにつけるコメントを入力します。



全角、半角にかかわらず最大200文字です。

6) “《イメージファイル形式》”の各項目を設定します。

ファイル形式：

添付するファイルのファイル形式を選択します。

- ・ マルチページ TIFF モード
このモードでは、読込んだデータを1つのマルチページTIFF形式ファイルとして送信します。
- ・ シングルページ TIFF モード
このモードでは、読込んだ画像の1面を1つのTIFFファイルとして送信します。
- ・ マルチページ PDF モード
このモードでは、読込んだデータを1つのPDFファイルとして送信します。
- ・ シングルページ PDF モード
このモードでは、読込んだ画像の1面を1つのPDFファイルとして送信します。

ファイル圧縮形式：

MH/MR/MMR 圧縮または非圧縮を指定します。



“1章の1.3 画像データのサイズについて”を参照してください。

注意

- ・ “かんたん読取り設定”で“グレー”が選択されている場合、大量の原稿を読取らせる場合、またはデータ量が大きくなるようないくつかの要因が重なる場合は、送信するデータ量にネットワークが対応できるか管理者に相談してから原稿の読取りを行ってください。
過度に大量のデータを送信するとネットワークに負担がかかり、サーバがダウンするなどの恐れがあります。

7) 読取る原稿に応じて、“[かんたん読取り設定]” の原稿タイプを選択します。

- ・ 出力イメージタイプ：二値

原稿タイプ：

文字+写真

ひとつの原稿に写真や文字混在する原稿を読取る場合に使用します。

文字

文字のみの原稿や OCR 等のソフトウェアを使用する場合に選択します。



OCR で利用する場合は、OCR 等に適した解像度に変更する必要があります。

写真

写真を読取る場合に選択します。

- ・ 出力イメージタイプ：グレー（原稿タイプ：すべて）
画像データとして多値データが必要な場合に選択します。画像サイズが大きくなります。



かんたん読取り設定について

- ・ かんたん読取り設定を利用すると、原稿に応じた最適な読取りをかんたんに設定することができます。
- ・ 読取りの設定を変更するとき、設定変更までに多少時間がかかる場合があります。設定が変更されると画面が先頭にスクロールします。
- ・ [読取りカスタマイズ] のチェックボックスをチェックすると、使用用途に応じ、かんたん読取り設定で選択した設定をカスタマイズすることができます。
- ・ 読取り設定のカスタマイズは、現在かんたん読取り設定で選択している読取り方法に対するカスタマイズです。カスタマイズが設定されている状態で読取り方法を変更するとカスタマイズ内容はクリアされます。



設定のカスタマイズについては、“6章 読取り設定をカスタマイズする”を参照してください。

登録

- 8) 設定が終了したら **登録** ボタンをクリックします。
- 設定内容が登録され、JOB 選択画面が表示されます。

ff-4750N
メニュー

□TOP
□JOB(読取り・送信)設定
■管理者
 ネットワーク設定
 動作モード
 パスワード
 グループ設定
 メンテナンス

JOB選択 <グループ:ファイル>

戻る

送信設定の追加を行なう場合は追加または複製ボタンを押下します。
また変更を行ないたい場合は編集ボタンを、削除したい場合は削除ボタンを押下します。

JOB設定の追加 >>

操作	No.	指定サービス	JOB名	詳細(読取りモード: E-mailアドレス、FTPサーバ、ファイル格納位置等)
編集 削除 複製	01	FTP	ファイル	文字 + 写真モード 172.22.30.130:/
編集 削除 複製	02	FTP	シリアル	文字 + 写真モード 172.22.30.130:/

JOB(読取り・送信)設定:
イメージデータの送信方法や読取り処理を設定します。



- JOB 選択の表に先程登録したものが追加されています。
- メモリが足りないと JOB を追加登録できません。その場合、不要な JOB を削除するなどしてメモリを確保してから JOB 登録してください。

これでファイルJOBの登録は終了です。



登録したJOBを使用して送信を行うときの手順については、“7章の7.1 読取ったデータを送信する”を参照してください。

5.4 Network TWAIN 連携 JOB を登録する

Network TWAIN 連携 JOB について

Network TWAIN 連携では、読取った画像データ（TIFF 形式）を当社 Network TWAIN Driver との連携ファイルとしてサーバに FTP 送信します。各クライアント PC（WINDOWS 環境のみ）に添付の Network TWAIN Driver をインストールしておけば、ドライバがサーバ上の指定の FTP ディレクトリを監視し、FTP 送信された画像データを即座に PC 上の任意アプリケーションに TWAIN-API で提供します。アプリケーションに画像が取り込まれるとサーバ上の画像データは Network TWAIN Driver によって自動的に削除されます。

Network TWAIN 連携 JOB の登録はファイルのサービスを使用して設定します。



Network TWAIN 連携には FTP というファイル転送方式を使用します。Network TWAIN 連携を実行するには、ファイル送信先のコンピュータに FTP サーバ機能が必要です。



- ・ Network TWAIN Driver のインストール方法については、添付の Network TWAIN Driver FPD に入っている “ Read Me ” ファイルを参照してください。
- ・ ファイル形式に PDF を選択している場合は、Network TWAIN の設定はできません。

選択

- 1) 送信設定のグループ選択画面で、サービスとしてファイルを指定できるグループの **選択** ボタンをクリックします。

- ・ JOB 選択画面が表示されます。

操作	No.	指定サービス	JOB名	詳細(読取)モード: E-mailアドレス、FTPサーバ、ファイル格納位置等)
		FTP		



- ・ Network TWAIN 連携 JOB はファイルのサービスを使用します。
- ・ Network TWAIN 連携 JOB が登録可能なグループにはサービスの欄に **FTP** のアイコンが表示されています。
- ・ 各グループでどのサービスを指定できるかの設定は管理者が行います。

JOB設定の追加 >>

2) JOB設定の追加 >> ボタンをクリックします。

- JOB編集画面が表示されます。

3) “JOB名”を入力します。



- スキャナオペレータパネル上で送信先を選択するとき、ここで設定した名前が表示されます。
- 全角文字を使用するとオペレータパネルに文字化けして表示されますので、半角のカタカナまたは英数字を使用してください。
- 「 ” 」 「 < 」 「 > 」 「 & 」 およびスペースは使用できません。
- オペレータパネルに表示されるのは11文字までです。

ファイル (FTP)

4) “[サービス]”の項目で“ファイル(FTP)”のラジオボタンをクリックします。

- ファイルJOB用の設定項目が表示されます。



- サービスに“ファイル(FTP)”のラジオボタンが表示されない場合は、選択したグループでファイルJOBの登録ができないように設定されています。
- 各グループでどの送信方法を指定できるかの設定は管理者が行います。

5) “《ファイル (FTP) 設定》” の各項目を設定します。

FTPサーバ (: 入力必須)

送信先のFTPサーバ (コンピュータ) のIPアドレスを入力します。(例 : 192. 168. 1. 100)

ユーザ名 (: 入力必須)

送信先のFTPサーバに登録されているユーザ名を入力します。

パスワード

送信先のFTPサーバに登録されているパスワードを入力します。

ファイル格納位置 (: 入力必須)

ファイルを格納するフォルダ名 (ディレクトリ名) を入力します。



“ FTPサーバ ”、“ ユーザ名 ”、“ パスワード ”、“ ファイル格納位置 ” について不明な点はFTPサーバ管理者に問い合わせてください。

ファイル名

転送したデータに任意のファイル名をつける場合に入力します。



- ・ ファイル名を何も設定していない場合は、ランダムなファイル名が自動的につけられます。
- ・ ファイル名は MAX10 文字までの半角英数字で指定します。
- ・ 「 ” 」 「 < 」 「 > 」 「 & 」 およびスペースは使用できません。



実際につけられるファイル名については “ 5章の5.7 ファイル名について ” を参照してください。

ファイル上書き保存

格納位置に同一名のファイルがあった場合の処理を選択します。



- ・ “する” を選択すると、上書き保存されます。
- ・ “しない” を選択すると、識別用の数字が入ったファイル名が自動的につけられます。識別用数字の桁数（3桁～8桁）を選択してください。

TWAINドライバ使用

“する” を選択します。

題名：

入力不要です。

宛先メールアドレス：

入力不要です。

送り元メールアドレス

入力不要です。

コメント：

入力不要です。

- 6) “《イメージファイル形式》” の各項目を設定します。

ファイル形式：

マルチページ TIFF モードを選択します。

ファイル圧縮形式：

MMR 圧縮を指定します。



“かんたん読取り設定” で “グレー” を選択すると、ファイル圧縮形式は自動的に非圧縮に設定されます。

注意

“かんたん読取り設定”で“グレー”を選択すると、原稿1ページあたりのデータ量がとても大きくなります。
 “グレー”を選択した場合は特に、送信するデータ量にネットワークが対応できるか管理者に相談してから原稿の読取り、送信を行ってください。
 過度に大量のデータを送信するとネットワークに負担をかけ、サーバがダウンするなどの恐れがあります。

- 7) 読取る原稿に応じて、“[かんたん読取り設定]”の原稿タイプを選択します。

出力イメージタイプ：二値

原稿タイプ：

文字+写真

ひとつの原稿に写真や文字混在する原稿を読取る場合に使用します。

文字 / OCR

文字のみの原稿やOCR等のソフトウェアを使用する場合に選択します。



OCRで利用する場合は、OCR等に適した解像度に変更する必要があります。

写真

写真を読取る場合に選択します。

出力イメージタイプ：グレー（原稿タイプ：すべて）
 画像データとして多値データが必要な場合に選択します。画像サイズが大きくなります。



かんたん読取り設定について

- かんたん読取り設定を利用すると、原稿に応じた最適な読取りをかんたんに設定することができます。
- 読取りの設定を変更するとき、設定変更までに多少時間がかかる場合があります。設定が変更されると画面が先頭にスクロールします。
- [読取りカスタマイズ]のチェックボックスをチェックすると、使用用途に応じ、かんたん読取り設定で選択した設定をカスタマイズすることができます。
- 読取り設定のカスタマイズは、現在かんたん読取り設定で選択している読取り方法に対するカスタマイズです。カスタマイズが設定されている状態で読取り方法を変更するとカスタマイズ内容はクリアされます。



設定のカスタマイズについては、“6章 読取り設定をカスタマイズする”を参照してください。

登録

8) 設定が終了したら **登録** ボタンをクリックします。

- 設定内容が登録され、JOB 選択画面が表示されます。

ff-4750N
メニュー

- TOP
- JOB(読取り・送信)設定
- ▣ 管理者
 - ネットワーク設定
 - 動作モード
 - パスワード
 - グループ設定
 - メンテナンス

JOB選択 <グループ:ファイル>

[戻る](#)

送信設定の追加を行なう場合は追加または複製ボタンを押下します。
また変更を行ないたい場合は編集ボタンを、削除したい場合は削除ボタンを押下します。

JOB設定の追加 >>

操作	No.	指定サービス	JOB名	詳細(読取りモード、E-mailアドレス、FTPサーバ、ファイル格納位置等)
編集 削除 複製	01	FTP	クワジ	文字 + 写真モード 172.22.30.130:/
編集 削除 複製	02	FTP	ワム	文字 + 写真モード 172.22.30.130:/



- JOB 選択の表に先程登録したものが追加されています。
- メモリが足りないと JOB を追加登録できません。その場合、不要な JOB を削除するなどしてメモリを確保してから JOB 登録してください。

これで NetworkTWAIN 連携の設定は終了です。



登録した JOB を使用して送信を行うときの手順については、“7章の7.1 読取ったデータを送信する”を参照してください。

5.5 ファイル名について

画像データのファイル名は下記のような構成で作成されます。

ファイル名部	上書き防止カウンタ	シングルページ指定部	拡張子
id00000000	001 ~ 00000001	_00000	.tif 又は .pdf

ユーザ指定または乱数から作成される部分で最大 10 文字の領域です。

ユーザ指定がない場合は、“id” に乱数による 8 桁の数字が付いたものとなります。

ファイル上書き保存をしない設定のときに必ず付けられます。指定により 3 桁から 8 桁の数字が付けられます。桁数があふれた場合はファイル名作成エラーとなり、オペレータパネルにメッセージが表示されます。

シングルページ TIFF 又はシングルページ PDF 指定時に必ず付けられます。現在行っている送信処理で送信したイメージ数を 5 桁の数字で表します。

6章 読取り設定をカスタマイズする

本装置は“かんたん読取り設定”の原稿タイプで読取り原稿に適した読取り設定を指定可能ですが、更に詳しい読取り設定が必要な場合は、選んだ原稿タイプの設定をカスタマイズすることができます。



カスタマイズはかんたん読取り設定の原稿タイプで選択された設定に対して行われます。カスタマイズされた設定の原稿タイプを変更すると、カスタマイズ内容はクリアされます。

 [読取りカスタマイズ]

- それぞれのJOB設定画面で“読取り設定のカスタマイズ”のチェックボックスをチェックします。
 - 読取りカスタマイズ画面が表示されます。

The screenshot shows the 'Read Customization' (読取りカスタマイズ) settings screen. The interface includes a sidebar with navigation options like 'TOP', 'JOB(読取り・送信)設定', and '管理者'. The main content area is titled '#-4750N' and 'メニュー'. The 'Read Customization' checkbox is checked. Below it, there are sections for 'Paper Settings' (用紙設定), 'Reading Area Specification' (読取り領域指定), and 'Resolution' (解像度). The 'Paper Settings' section includes 'Size' (自動検出) and 'Direction' (縦). The 'Reading Area Specification' section includes radio buttons for 'None', 'With', and 'Offset', and input fields for 'Start X', 'Start Y', 'Width W', and 'Height H'. The 'Resolution' section includes a dropdown menu set to '200dpi' and an input field for 'dpi'.



[読取りカスタマイズ]のチェックを外すとカスタマイズ内容はすべてクリアされます。

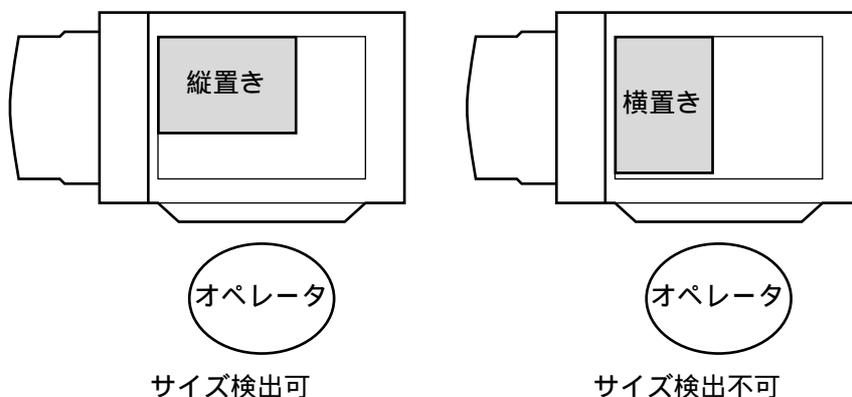
- 各項目を設定します。

《用紙設定》

原稿のサイズと方向を選択します。サイズは通常“自動検出”を選択します。サイズに“ユーザ指定”を選択した場合は、原稿の幅と長さをmm単位で入力します。



- ・ フラットベッドの原稿押えパッドが白い場合、フラットベッドで読取りを行ったときにはサイズの自動検出ができません。その場合“自動検出”が指定されているとオペレータパネルに用紙サイズ選択画面が表示されますので、その都度原稿サイズを指定してください。
- ・ サイズの自動検出は原稿方向が縦のときしか設定できません。
- ・ 本スキャナでは原稿の長辺を原稿台の奥に突き当ててセットしたときの方向を縦としています。



- ・ サイズの自動検出で検出できる原稿サイズは以下のとおりです。

フラットベッドでの読取りの場合：

A3、A4、A5、B4、B5、名刺サイズ、はがきサイズ

ADFでの読取りの場合：

A3、A4、A5、B4、B5

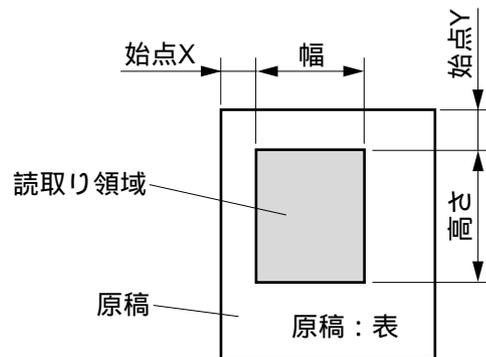
これ以外のサイズの原稿をセットした場合は、上記のどれかに検出されます。

《読取り領域指定》

原稿の特定の部分を読取らせたい場合“有り”を選択し、領域を入力します。

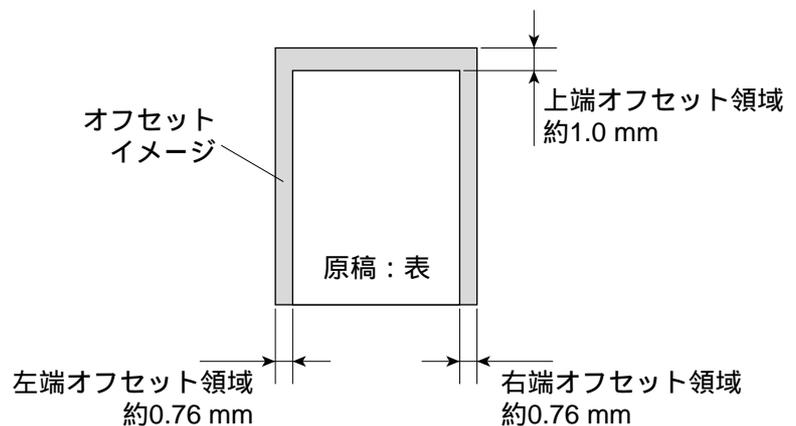


“始点”には原稿の左上から読取り領域の左上までの距離をmm単位で入力してください。



読取り領域指定で“有り”を選択すると、“オフセット有り”の指定ができるようになります。

“オフセット有り”を指定（チェック）すると、下図のように、原稿イメージの外側にコの字形にオフセットイメージがついた画像データが送信されます。

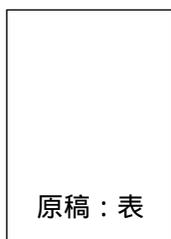


読取り領域の設定により、オフセットイメージのつきかたが変わります。

読取り領域を原稿全体に指定したとき

イメージの外側にコの字形にオフセットイメージがつきます。

通常



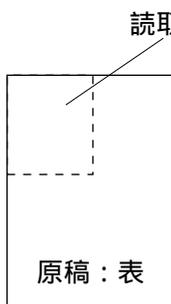
オフセット有り



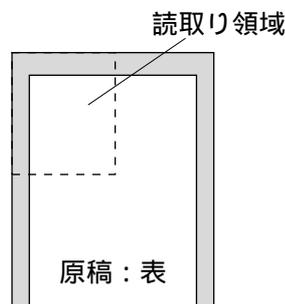
読取り領域を原稿左上端に指定したとき

イメージの左端および上端にオフセットイメージがつきます。

通常



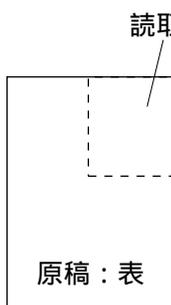
オフセット有り



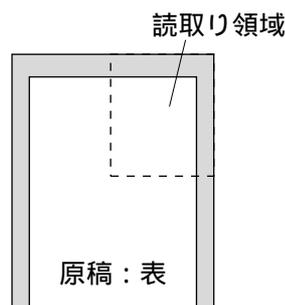
読取り領域を原稿右上端に指定したとき

イメージの右端および上端にオフセットイメージがつきます。

通常



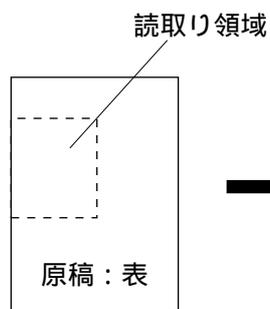
オフセット有り



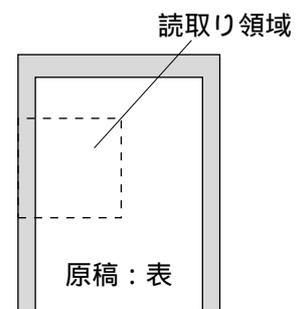
読取り領域を原稿左端に指定したとき

イメージの左端にオフセットイメージがつきます。

通常

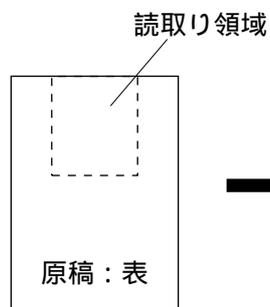


オフセット有り

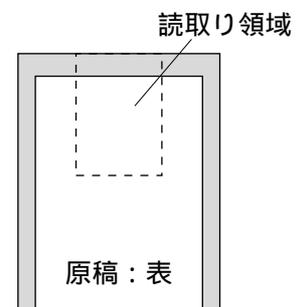
読取り領域を原稿上端に指定したとき

イメージの上端にオフセットイメージがつきます。

通常

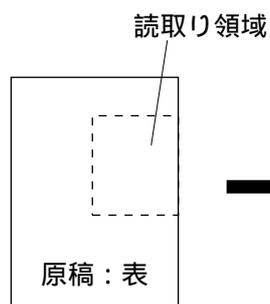


オフセット有り

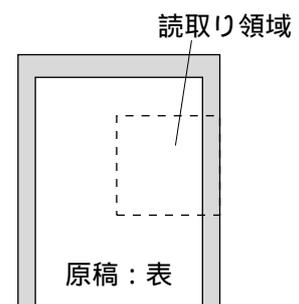
読取り領域を原稿右端に指定したとき

イメージの右端にオフセットイメージがつきます。

通常



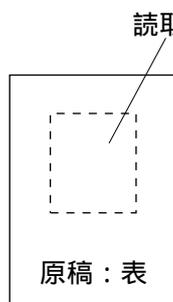
オフセット有り



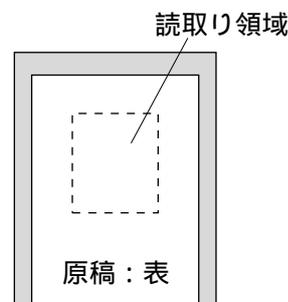
読取り領域を原稿中央に指定したとき

オフセットイメージはつきません。

通常



オフセット有り



《解像度》

読取りの解像度を選択します。“ユーザ指定”を選択した場合は50 dpi ~ 400 dpiの範囲で入力します。

注意

読取りの解像度を高く設定すると、原稿1ページ当たりのデータ量が大きくなります。解像度を高く設定したとき、送信データ量が大きくなるような他の要因が重なる場合は、送信するデータ量にネットワークが対応できるか管理者に相談してから原稿の読取りを行ってください。過度に大量のデータを送信するとネットワークに負担がかかり、サーバがダウンするなどの恐れがあります。



- ・ 解像度を低くするほど、読取りデータ量が小さくなり、読取り速度が上がりますが、細かな文字がかすれる場合が出てきます。
- ・ 通常は200 dpiを推奨します。
- ・ グレーは200 dpiまでしか設定できません。

《2値化手法》

二値化方法を選択します。



- ・ 二値化方法の設定項目は、かんたん読取り設定で選択したモードによって異なります。
- ・ 画面には設定可能な項目のみが表示されます。
- ・ グレー多値選択時はこの項目は表示されません。

<文字部処理>

かんたん読取り設定で二値：文字 + 写真または文字を選択したときに設定します。

fi-4750N

メニュー

- TOP
- JOB(読取り・送信)設定
- 管理者
 - ネットワーク設定
 - 動作モード
 - パスワード
 - グループ設定
 - メンテナンス

[かんたん読取り設定]

読取り方法を選択してください。

出力データ形式 | 原稿種類 | 選択

二値	文字 + 写真	○
	文字	○
	写真	○
グレー	全て	○

[読取りカスタマイズ]

《用紙設定》

サイズ 幅
方向 長さ

《読取り領域指定》

無し 有り オフセット有り

始点 X : 幅 W
始点 Y : 高さ H

《解像度》

[詳細設定]

《2値化手法》

<文字部処理>

○ スライス	スライス値(1~255) <input type="text"/>
<input checked="" type="radio"/> 自動二値(簡易)	スライス値 <input type="text" value="中"/>
<input type="radio"/> 自動二値(完全)	濃度カーブ <input type="radio"/> 薄い <input type="radio"/> 濃い ○ ○ ○ 1 ○ 2
	フィルタリング <input type="radio"/> ボールペンモード <input checked="" type="radio"/> 通常モード
	ゴミ取り <input type="text" value="無し"/>
	スムージング <input type="checkbox"/> 有効

《画像処理》

白黒反転

コントラスト

シャープネス

追従指定

ガンマ補正

《運用モード指定》

ダブルフィード検出

白紙スキップモード 無し 有り
黒ドット比率(0.01%刻みで0.01~2.55%の範囲)

ADF(表面)裏当て

縁消し

	上端0 <input type="text" value="mm"/>	
左端0 <input type="text" value="mm"/>		右端0 <input type="text" value="mm"/>
	下端0 <input type="text" value="mm"/>	

JOB(読取り・送信)設定:
イメージデータの送信方法や読取り処理を設定します。

スライス

文字 + 写真原稿を読取る場合に選択します。原稿を淡く読取る場合には小さい値を、原稿を濃く読取る場合には大きい値を入力してください。

自動二値（簡易）

コントラスト差の少ない背景と文字（例えば背景色と同色の文字など）の原稿であっても自動的にスライス値を切換え、文字を再現します。



スライス値を大きくするほど、コントラスト差の小さいものを識別できますが、逆に汚れやホコリなどにも敏感に反応し、きれいに読取れない場合がありますので、原稿に合わせて調整してください。

自動二値（完全）

前述の自動二値（簡易）に比べてより細かく精度の高い処理を行います。また、同時に以降に記載のゴミ取りなどの処理を実行することができます。

画像処理機能詳細

濃淡カーブを大きくするほど、コントラスト差の小さいものを識別できるようになりますが、逆に汚れやホコリなどにも敏感に反応し、ノイズが増える場合がありますので原稿にあわせて調整してください。

フィルタリングは、鉛筆やボールペンで書込まれた原稿の文字の中抜けをうめることにより、文字のカスレを少なくします。必要な場合、ボールペンモードを選択してください。ゴミ取りは白い領域の中の黒い小さな点や、黒い領域の中の白い小さな点を「ゴミ」や「しみ」とみなして、自動的に除去します。除去するドットの最大の大きさを指定します。原稿に応じて適切なサイズを選択してください。

スムージングは文字のギザギザになった線をなめらかにします。



詳細については fi-IPC4D (画像処理オプションボード) の取扱説明書を参照してください。



自動二値 (簡易、完全) を指定する際は追従指定を写真モードにしてください。

fi-4750N
メニュー

- TOP
- JOB(読取り・送信)設定
- ◎ 管理者
 - ネットワーク設定
 - 動作モード
 - パスワード
 - グループ設定
 - メンテナンス

[かんたん読取り設定]

読取り方法を選択してください。

出力データ形式 原稿種類 選択

二値	文字+写真	<input checked="" type="radio"/>
	文字	<input type="radio"/>
	写真	<input type="radio"/>
グレー	全て	<input type="radio"/>

[読取りカスタマイズ]

《用紙設定》

サイズ 幅
方向 長さ

《読取り領域指定》

無し 有り オフセット有り

始点 X 幅 W
始点 Y 高さ H

《解像度》

dpi

[詳細設定]

《2値化手法》

<文字部処理>

<input checked="" type="radio"/> スライス	スライス値(1~255) <input type="text" value="128"/>
<input type="radio"/> 自動二値	スライス値 [中]
<input type="radio"/> 像域分離(画像処理オプション)	スライス値(1~255) <input type="text" value=""/>

<写真部処理>

<input checked="" type="radio"/> 誤差拡散処理	
<input type="radio"/> デザイナー/ターン処理	デザイナー/ターン <input type="text" value="濃・画像用"/>

《画像処理》

白黒反転	<input type="text" value="無し"/>
コントラスト	コントラスト値(1~255) <input type="text" value="170"/>
シャープネス	<input type="text" value="強調中"/>
追従指定	<input type="text" value="写真モード"/>
ガンマ補正	<input type="text" value="無し(リニア)"/>

《運用モード指定》

ダブルフィード検出	<input type="text" value="無し"/>								
白紙スキップモード	<input checked="" type="radio"/> 無し <input type="radio"/> 有り 黒ドット比率(0.01%刻みで0.01~2.55%の範囲) <input type="text" value=""/>								
ADF(表面)裏当て	<input type="text" value="白"/>								
縁消し	<table border="1"> <tr> <td>左端</td> <td><input type="text" value="mm"/></td> <td>右端</td> <td><input type="text" value="mm"/></td> </tr> <tr> <td>上端</td> <td><input type="text" value="mm"/></td> <td>下端</td> <td><input type="text" value="mm"/></td> </tr> </table>	左端	<input type="text" value="mm"/>	右端	<input type="text" value="mm"/>	上端	<input type="text" value="mm"/>	下端	<input type="text" value="mm"/>
左端	<input type="text" value="mm"/>	右端	<input type="text" value="mm"/>						
上端	<input type="text" value="mm"/>	下端	<input type="text" value="mm"/>						

 JOB(読取り・送信)設定:
イメージデータの送信方法や読取り処理を設定します。

像域分離(画像処理オプション)

読取り時に文字部分と写真部分を自動的に識別して、別々の処理を行います。

fi-IPC4D(画像処理オプションボード)が組み込まれている場合のみ表示されます。

スライス値は原稿の濃度(コントラスト)に合わせて、淡く読取る場合には小さい値を、濃く読取る場合には大きい値を入力してください。

< 写真部処理 >

かんたん読取り設定で二値：文字 + 写真または写真を選択したときに設定します。

誤差拡散処理

誤差拡散処理で画像を二値化します。

ディザパターン処理

ディザパターン処理で画像を二値化します。
ディザパターンは読取り画像により選択します。

fi-4750N

メニュー

- TOP
- JOB(読取り・送信)設定
- 管理者
 - ネットワーク設定
 - 動作モード
 - パスワード
 - グループ設定
 - メンテナンス

[かんたん読取り設定]

読取り方法を選択してください。

出力データ形式 | 原稿種類 | 選択

二値	文字 + 写真	<input type="radio"/>
	文字	<input type="radio"/>
	写真	<input checked="" type="radio"/>
グレー	全て	<input type="radio"/>

[読取りカスタマイズ]

《用紙設定》

サイズ | 自動検出 | 幅 | mm

方向 | 縦 | 長さ | mm

《読取り領域指定》

無し 有り オフセット有り

始点 X | mm : 幅 W | mm

始点 Y | mm : 高さ H | mm

《解像度》

200dpi | dpi

[詳細設定]

《2値化手法》

< 写真部処理 >

誤差拡散処理

ディザパターン処理 | ディザパターン | 黒い画像用

ブライテンス | ブライテンス値(1~255) | 128

《画像処理》

白黒反転 | 無し

コントラスト | コントラスト値(1~255) | 128

シャープネス | 無効

追従指定 | 写真モード

ガンマ補正 | 無し(ニア)

《運用モード指定》

ダブルフィード検出 | 無し

白紙スキップモード | 無し 有り

黒ドット比率(0.01%刻みで0.01~2.55%の範囲) | %

ADF(表面)裏当て | 白

縁消し

	上端 <input type="text"/> mm		
左端	<input type="text"/> mm	右端	<input type="text"/> mm
	下端	<input type="text"/> mm	

JOB(読取り・送信)設定:
イメージデータの送信方法や読取り処理を設定します。

ブライトネス

かんたん読取り設定で二値：写真を選択したときに設定します。

画像の明るさを調整します。原稿を明るく読みたいときは大きい数字を、暗く読みたいときは小さい数字を指定します。

《画像処理》

白黒反転

“有り”を指定すると読取り画像を白黒反転処理します。



グレー選択時は白黒反転できません。

コントラスト

画像のコントラストの調節を行います。数値が大きいとコントラストが強く、数値が小さいとコントラストが弱くなります。

シャープネス

画像への強調処理を設定します。

強調小 大の順で画像はシャープになります。平滑化を選択すると、画像はソフトになります。

輪郭抽出を選択すると、画像は輪郭線を取り出したイメージに処理されます。



輪郭抽出は文字モードでのみ指定できます。

追従指定

読取り時の地色追従モードを設定します。

<文字部処理>でスライスが設定されている場合で文字の書かれた原稿を読取る場合は線画モードを選択してください。

その他の場合は写真モードを選択してください。

ガンマ補正

スキャナ内のセンサは原稿の濃淡に比例したデータを出力いたしますが、多くの出力機器（ディスプレイ、プリンタ）はこの比例したデータに応じた出力をいたしません。そのため、この調整が必要な場合があります。補正パターンは、リニア、ソフト、ハードの3種用意してありますので、ご使用の出力機器に合わせて調整してください。

《運用モード指定》

ダブルフィード検出

ダブルフィード検出を指定すると、ADF 読取り時に2枚目以降の原稿のダブルフィードエラーを検出することができます。検出方法として、原稿の長さ・厚さをそれぞれ選択できます。

- ・ 原稿の長さによる検出：

1枚目の原稿より2枚目以降に読取られた原稿が指定長（選択）より長い場合にダブルフィードとして検出します。



例えば1枚目：A4横原稿、2枚目：A3原稿の順で原稿を混載した場合、この検出ではダブルフィードエラーとなりますので注意が必要です。

- ・ 原稿の厚さによる検出：

透過センサにより、1枚目の原稿の厚さより2枚目以降の原稿の厚さが極端に厚いと判断された場合、ダブルフィードとなります。



原稿の厚さによる検出を行う場合は、原稿内容が検出精度（誤検出の起こりやすさ）に影響を与えるため、事前に原稿内容を確認してください。

白紙スキップモード

ADF 読取りで両面読取り指定時に白紙の原稿を読取った場合、白紙のイメージを無視するかどうかを指定します。

“有り”を選択した場合は、白紙検出時、そのデータを送信先には送りません。

スライスは、イメージ中の黒ドットの比率がどれくらいの原稿を白紙として検出するかを0.01%刻みで0.01～2.55%の範囲で指定します。



- ・ 画像処理によっては白紙でも黒く読取りが行われ、スキップできない場合があります。
- ・ グレー読取り時は指定できません。

ADF (表面) 裏当て

ADF (表面) の裏当ての色を指定することができます。

OCRソフトなどで処理する場合は、裏当て“黒”を選択します。



- ・ 裏当て“黒”を選択すると原稿の境目がはっきりします。
- ・ 裏当て“白”を選択すると原稿背景(原稿周りの黒枠)が出にくくなり、ファイリングなどの用途に適します。



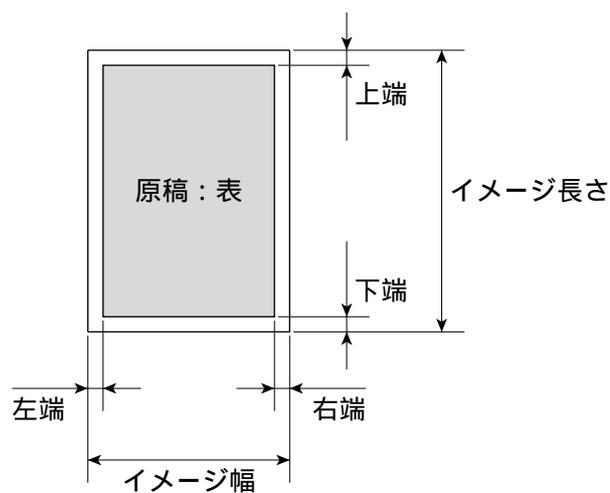
詳細については使用するOCRソフトの説明書を参照してください。

縁消し

イメージの上端、下端、左端、右端を指定範囲で白く塗りつぶします。指定は0～15 mmまで1 mm単位で設定できます。



読取り領域設定を行った場合でも、指定通りにイメージの縁消しを行います。



登録

- 3) 設定が終了したら画面先頭に戻り、登録 ボタンをクリックします。

7章 読取り / 送信

7.1 読取ったデータを送信する

注意

- ・ “かんたん読取り設定” で “グレー” が選択されている場合、大量の原稿を読取らせる場合、またはデータ量が大きくなるようないくつかの要因が重なる場合は、送信するデータ量にネットワークが対応できるか管理者に相談してから原稿の読取りを行ってください。
過度に大量のデータを送信するとネットワークに負担がかかり、サーバがダウンするなどの恐れがあります。
- ・ メール送信機能によりデータを送信するときは、管理者に相談し、データ量の大きいものは送信しないようにしてください。
メールは受信されるまでメールサーバ内に蓄えられます。
メール分割するしないにかかわらず、データ量の合計が大きいメールを送信すると、メールサーバの保存領域を圧迫します。その結果、送信先のメールクライアントだけでなく、同じメールサーバを利用している他のメールクライアントのメール送受信に負荷を与える恐れがあります。
- ・ 本装置はネットワークに接続する装置であり、FAX 等に比べデータの秘匿性が低くなります。特に機密を要する書類を送信する場合は注意してください。

スキャナで実際に原稿を読取り、データを送信するときは、下記の手順により行います。

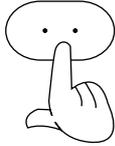


読取ったデータを処理するには、あらかじめJOBを登録しておく必要があります。

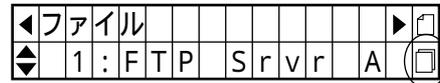


JOBを登録する手順については、“5章 JOBの登録”を参照してください。

ファンクション



- 6) ファンクションスイッチで追加モードの有効または無効を選択します。

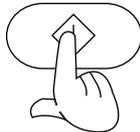


□: 追加モード有効
□: 追加モード無効



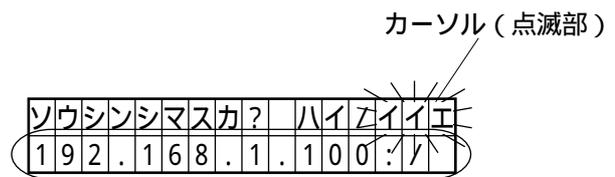
追加モードについては、“本章の7.3 追加モードについて”を参照してください。

スタート/送信



- 7) スタート/送信スイッチを押します。

- 送信確認をするように管理者が設定している場合、確認のメッセージが表示されます。



具体的な送信先
(長い場合はスクロール表示されます。)



- このメッセージが表示された場合、送信先に間違いがないことを確認し、カーソルを“ハイ”に移動させ、スタート/送信スイッチを押してください。
 - 送信をやめる場合はストップ/リセットスイッチを押すかまたはカーソルが“イイエ”の位置にある状態でスタート/送信スイッチを押してください。
- ドメインチェックをするように管理者が設定している場合、送信先のメールアドレスが設定されたドメイン以外のものであると、確認のメッセージが表示されます。

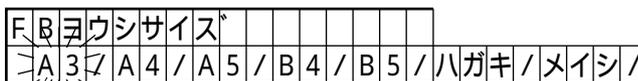


送信先メールアドレス
(長い場合はスクロール表示されます。)



- ・ このメッセージが表示された場合、送信先に間違いがないことを確認し、カーソルを“ハイ”に移動させ、スタート/送信スイッチを押してください。
- ・ 送信をやめる場合は、ストップ/リセットスイッチを押すかまたはカーソルが“イイエ”の位置にある状態でスタート/送信スイッチを押してください。

- ・ フラットベッドで読取りを行う際、JOBで用紙サイズが“自動検出”に設定されていて、フラットベッドの原稿押さえパッドを“白”に設定している場合、用紙サイズ指定画面が表示されます。
フラットベッドの原稿押さえ色は管理者が設定します。



カーソル (点滅部)

LETTER / DLT / LEGAL



- ・ この画面が表示された場合、左右スイッチで原稿の用紙サイズに当たるところにカーソルを移動させ、スタート/送信スイッチを押してください。
- ・ 送信をやめる場合はストップ/リセットスイッチを押してください。
- ・ 略号の意味とサイズは下記のとおりです。

ハガキ	： はがきサイズ	100.0 × 149.0 mm
メイシ	： 名刺サイズ	55.0 × 90.0 mm
LETTER	： レターサイズ	215.9 × 279.4 mm
DLT	： 11 × 17 インチサイズ	279.4 × 431.8 mm
LEGAL	： リーガルサイズ	215.9 × 355.6 mm

- ・ スキャナが読取り動作を開始し、読取り / 送信経過画面が表示されます。

		ヨ	ミ	ト	リ						10		
		ソ	ウ	シ	ン	ス	ミ				7		

読取った原稿の数
送信したデータの数



- ・ 読取り動作中にストップ / リセットスイッチを押すと、スキャナは読取り動作を中止しますが、すでに原稿を読取った分のデータについてはほとんどが送信されます。
- ・ マルチページ TIFF を指定してある場合、JOB を中断するとマルチページ TIFF を正常に終了するために “読み取りが中断されました。本ページは削除してください。” と書かれたイメージ画像が追加される場合があります。

- ・ 読取りおよび送信が終了すると、送信終了画面が表示されます。

		ソ	ウ	シ	ン	シ	ユ	ウ	リ	ヨ	ウ		
		10	ペ	ー	ジ	ソ	ウ	シ					

送信したイメージの数



白紙スキップモードが “有り” に設定されている場合、読取った原稿の数と送信したデータの数が最終的に一致しない場合があります。



eメールを使用して、緊急を要する書類などを送信したときは、データが送信先に到着したことを必ず確認してください。送信エラーを通知するメールが何らかの原因で送信されてこなかったり、送信されてくるまでに長時間かかったりすることがあります。

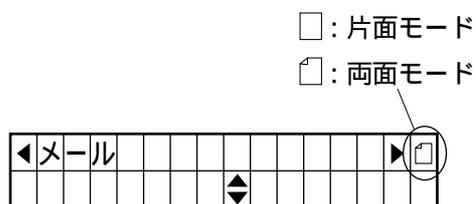
7.2 片面/両面モードについて



メニュー表示画面で片面/両面スイッチを押すと片面モードと両面モードが切替わります。

今の状態が片面モードか両面モードかは、メニュー表示画面の右上のマークで判別できます。

“”が表示されていれば片面モード、“”が表示されていれば両面モードです。



片面モードでは、ADF 読取り時に表面（下向きの面）のみを読取ります。

両面モードでは、ADF 読取り時に両面（上下の面）を同時に読取ります。

フラットベッド読取り時は、片面モード、両面モードの切替えが無効になり、表面（下向きの面）のみを読取ります。

電源投入時、片面モードおよび両面モードのどちらをデフォルトにするかは、管理者メニューで設定可能です。

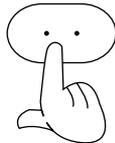


“4章の4.3 動作モードの設定を変更する”を参照してください。

7.3 追加モードについて

追加モードを使用すれば、ADFでサイズの異なる原稿を読取った場合や、フラットベッドで複数枚読取った場合などにも、画像データを1つのマルチページTIFF又はマルチページPDFファイルとして、処理（JOB実行）できます。

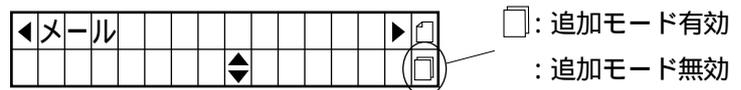
ファンクション



メニュー表示画面でファンクションスイッチを押すと、追加モードの有効と無効が切替わります。

今の状態で追加モードが有効か無効かは、メニュー表示画面の右下のマークで判別できます。

“”が表示されていれば追加モード有効、表示されていなければ、追加モード無効です。



下記の画面では、画面の左上に、追加モード有効ならば“A”が表示されます。追加モード無効ならば表示されません。

A : 追加モード有効

: 追加モード無効

A	ヨ	ミ	トリ					1	0		
	ソ	ウ	シ	ン	ス	ミ			7		

追加モードでは、読取りが終了すると、読取り継続確認メニューが表示されます。

ヨ	ミ	トリ	1	0	0	シ	ユ	リ	ヨ	ウ	
ヨ	ミ	トリ	ツ	イ	カ	7	シ	ユ	リ	ヨ	ウ

カーソル（点滅部）



このとき片面/両面スイッチを押すと、継続して次に読取りを行うときの片面モード、両面モードを変更できます。

読取りを継続させるときは、原稿をセットし、スタート/送信スイッチを押します。

読取りを終了させるときは、右スイッチを押してカーソル（点滅部）を“シュウリョウ”の位置に移動させ、スタート/送信スイッチを押します。

8章 トラブルシューティング

8.1 一時的なエラー

通常の読取り・送信において原稿や操作に起因する問題が発生したときに表示されるエラーメッセージは以下のとおりです。

“ゲッコウJAM”

ADFからの原稿読取りにおいてJAMが発生すると表示されます。

ADFカバーを開け、詰まった原稿を取除いてホッパへ戻し、読取りを再開してください。読取りを中断すると、読取ったデータは送信され、以降の読取りはキャンセルされます。

“ADFカバーがオープン”

ADFカバーが開いていると表示されます。

ADFカバーは、原稿を読取り中か否かに関わらず閉めておいてください。ホコリが入るなどして、読取り画像へ影響を与える場合があります。

“ダブルフィード”

ADFからの原稿読取りにおいて、ダブルフィードが発生すると表示されます。

表示に従い、読取りを再開してください。

ダブルフィード検出の検出方法に“原稿厚さ”を指定してある場合、原稿の印刷パターンによっては誤検出することがあります。誤検出が頻発する場合は“原稿厚さ”の指定を外してください。

“ LANケーブルにセツク ”

本装置が起動した状態のとき、LAN ケーブルが抜けている、または LINK 指定がない場合に表示されます。

LAN ケーブルが接続され、LINK された状態になると表示は消えます。

LAN ケーブルを接続しても表示がかわらないときは、本機を接続している HUB など、ネットワーク中継器への接続状態、電源状態を確認してください。

それでも LINK が確立しない場合はネットワーク通信速度に関するネゴシエーションに失敗していることが考えられます。手動でネットワーク中継器との通信速度を設定してください。



通信速度の設定方法については “ 3章の3.1 IP アドレスを設定する ” を参照してください。

“ DHCP エラー ”

[DHCP を使用する] に設定した状態で、DHCP サーバから IP アドレスを獲得できない場合に表示されます。DHCP サーバから IP アドレスを獲得できると表示は消えます。

しばらく待っても表示が変わらないときは、本装置を接続しているネットワーク上に DHCP サーバが動作しているかまた IP アドレスの割り振りが可能な状態かどうか確認してください。

“ ハイェツツJAM ”

電源投入時、ADF の原稿通路に原稿などがはさまっていると排出しようとしませんが、その際に JAM が発生すると表示されます。

ADF カバーを開け、詰まった原稿を取除いてストップ / リセットスイッチを押してください。

“ ピックローラにウツクダサイ ”

ADF でのピックアップミスが多発すると表示されます。

ピックアップローラの清掃を行ってください。



- ・ 紙粉の発生しやすい原稿や、特殊なコーティングのされた原稿を多く読込ませると、このエラーが発生しやすくなります。
- ・ “ADFがラスタライジングがサイ” のメッセージと同時に表示されることもあります。
- ・ ストップ/リセットスイッチを押すとこの表示はクリアされますが、電源再投入を行わずに読取り、送信を行うと、終了後再び表示されます。



清掃のしかたについては、fi-4750N イメージスキャナ オペレータガイドを参照してください。

“ADFがラスタライジングがサイ”

ADF の原稿通路内に紙粉や異物が溜まると表示されます。
ADF ガラスの清掃を行ってください。



- ・ “ピッカーラスタライジングがサイ” のメッセージと同時に表示されることもあります。
- ・ ストップ/リセットスイッチを押すとこの表示はクリアされますが、電源再投入を行わずに読取り、送信を行うと、終了後再び表示されます。



清掃のしかたについては、fi-4750N イメージスキャナ オペレータガイドを参照してください。

8.2 装置異常（アラーム）

装置に問題が発生したときに表示されるアラームは以下のとおりです。

“ ヲコウケイジ ョウ ”

フラットベッド読取りユニットの駆動系に異常が発生すると表示されます。

電源を再投入し、読取りを行ってください。再度発生するようであれば使用を中止し、販売店または巻末のイメージングサービス&サポートセンターまでご連絡ください。

“ コウガ ケイジ ョウ 牝 ”

表面の読取りユニットにおいて光学的異常が発生すると表示されます。

電源を再投入し、読取りを行ってください。再度発生するようであれば使用を中止し、販売店または巻末のイメージングサービス&サポートセンターまでご連絡ください。

“ コウガ ケイジ ョウ ㇿ ”

裏面の読取りユニットにおいて光学的異常が発生すると表示されます。

電源を再投入し、読取りを行ってください。再度発生するようであれば使用を中止し、販売店または巻末のイメージングサービス&サポートセンターまでご連絡ください。

“ ランプ ヒューズ ダン ”

光源ランプの電源供給ラインのヒューズが切断すると表示されます。

電源を再投入し、読取りを行ってください。再度発生するようであれば使用を中止し、販売店または巻末のイメージングサービス&サポートセンターまでご連絡ください。

“ファン停止”

電源部の冷却ファンが停止すると表示されます。
電源を再投入して再度発生するようであれば使用を中止し、販売店または巻末のイメージングサービス&サポートセンターまでご連絡ください。



節電モード中はファンが停止しますが、これは異常ではありません。(アラームは表示されません。)

“モーターヒューズ ダン”

駆動系モータの電源供給ラインのヒューズが切断すると表示されます。
電源を再投入して再度発生するようであれば使用を中止し、販売店または巻末のイメージングサービス&サポートセンターまでご連絡ください。

“MACアドレスエラー”

装置のMACアドレスメモリに異常が発生すると表示されます。
電源を再投入して再度発生するようであれば使用を中止し、販売店または巻末のイメージングサービス&サポートセンターまでご連絡ください。

“インシャルエラー”

“ツウシエラー”

LANアダプタボードとスキャナ装置の間に異常が発生すると表示されます。
LANアダプタボードの取付けが正常であるか確認してください。
取付けが正常であって、電源を再投入しても再度発生するようであれば使用を中止し、販売店または巻末のイメージングサービス&サポートセンターまでご連絡ください。

8.3 ネットワーク系エラー

ネットワーク系の接続や設定に問題が発生したときに表示されるエラーメッセージは以下のとおりです。

“SMTPサーバへの接続ができません。 . . . ”

メールを利用するJOBの実行時に、メールサーバとの接続が確立できないと表示されます。

- ・ SMTPサーバアドレスもしくはSMTPサーバドメイン名が正しいか確認してください。
- ・ PingによりSMTPサーバへの疎通を確認してください。
- ・ メールサーバ管理者へSMTPサーバのサービス稼働状態を確認してください。

“データが送信できません。SMTPサーバへの接続が切断されました。 . . . ”

メールサーバに対してイメージデータの送信中に回線が切断し、タイムアウトとなると表示されます。

- ・ 接続経路の中継器（HUBなど）の電源状態を確認してください。
- ・ LANケーブルの接続状態を確認してください。

“SMTPサーバが見つかりません。 . . . ”

以下の要因が考えられます。

- ・ DNS使用時、SMTPサーバのホスト名がDNSに未登録である。
ネットワーク管理者へ確認してください。
- ・ SMTPサーバをホスト名で指定しているが、DNSサーバのIPアドレスが未設定である。
ネットワーク設定を確認してください。

“ネットワークエラー”、“FTPサーバがミッドレシーブできません”

以下の要因が考えられます。

- ・ DNS 使用時、FTP サーバのホスト名が DNS に未登録である。
ネットワーク管理者へ確認してください。
- ・ FTP サーバをホスト名で指定しているが、DNS サーバの IP アドレスが未設定である。
ネットワーク設定を確認してください。
- ・ 実在しない FTP サーバを指定している。
JOB の送信先サーバを確認してください。

“ネットワークエラー”、“イメージファイルが書き込みできません”

以下の要因が考えられます。

- ・ FTP サーバのデータ格納先エイリアス指定が存在しない。
FTP サーバ管理者へ確認してください。または、JOB 内容を確認してください。

“ネットワークエラー”、“データが書き込みできません”

以下の要因が考えられます。

- ・ FTP サーバのデータ格納先エイリアスが書き込み禁止になっている。
FTP サーバ管理者へ確認してください。

“IPアドレスエラー”

ネットワーク上に本装置と同じ IP アドレスを持つ機器が存在します。

ネットワーク管理者に相談してください。

“ ネットワークエラー ”、“ FTPサーバへLoginに失敗します。 ”

以下の要因が考えられます。

- ・ FTP サービスの動作していないホストヘデータを転送しようとした。
JOB の FTP サーバ設定を確認してください。または、管理者へ確認してください。
- ・ FTP ログインIDが不正である。
JOB の FTP サーバ設定を確認してください。または、管理者へ確認してください。
- ・ FTP ログインパスワードが不正である。
JOB の FTP サーバ設定を確認してください。または、管理者へ確認してください。

“ メールアドレス指定が失敗します。 ”

以下の要因が考えられます。

- ・ JOB 内のアドレス指定が間違っている。
JOB を確認してください。

“ メールアドレス指定が失敗します。 ”

以下の要因が考えられます。

- ・ JOB 内のアドレス指定が間違っている。
JOB を確認してください。

“ DNSサーバがミスマッチ。 ”

以下の要因が考えられます。

- ・ 管理者メニューで DNS サーバが設定されていない。
または設定が間違っている。
設定を確認してください。

“ ファイル名が長すぎる、ファイル名がフルパス。 ”

ファイルの送信先で、ファイル名がオーバーフローしてきます。

ファイルNo. の桁数を増やす、または送信先のパス内のファイルを削除する、などの処置をとってください。

8.4 困ったときには

起動ができない

- ・ 電源ランプが点灯していない場合

- 1) 電源ケーブルが正しくコンセントに差し込まれているか確認してください。
- 2) スキャナ後面のスイッチが“I”側へ押されているか確認してください。

- ・ 電源を入れると“LAN ケーブルミセツゾク ケーブルヲカクニンシテクダサイ”というメッセージが出る。

- 1) LAN ケーブルがきちんと差し込まれているか確認してください。
- 2) LAN で接続されている相手先の装置（HUB など）の LED の状態を確認してください。



LED が点灯していない場合、相手先装置の電源が入っていないか、ケーブルが断線している可能性があります。

- 3) LAN の通信速度が合っているか確認してください。

ブラウザから本装置の Top ページにアクセスできない

- 1) IP アドレスが正しく設定されているか確認してください。
- 2) IP アドレスの値が他の装置と重複していないか確認してください。
- 3) ゲートウェイの設定を確認してください。



クライアントと本装置間にゲートウェイが存在する場合はネットワーク設定でゲートウェイの IP アドレスを設定しておく必要があります。

パスワードを忘れてしまった

下記の手順によりパスワードを消去してください。

- 1) スキャナの電源を入れます。
 - ・ スキャナが立ち上がり、しばらくするとメニュー画面が表示されます。
- 2) ストップ / リセットスイッチを約 10 秒間押し続けます。
 - ・ DHCP クライアント機能設定画面が表示されます。
- 3) 片面 / 両面スイッチを約 10 秒間押し続けます。
 - ・ “パスワードヲクリアシマスカ？” のメッセージが表示されます。
- 4) カーソルを “ハイ” に移動させ、読取り / 送信スイッチを押します。

仕様

fi-4750N の仕様

項目	基本仕様
ネットワーク接続 インターフェース	IEEE802.3u、100BASE-TX / 10BASE-T イーサネット
物理仕様	8 ピン・モジュラジャック (RJ45)
通信速度	100M ビット/秒 (最大)
電子メールオペレーション	SMTP、Base64、MIME
FTP オペレーション	FTP
転送ファイル形式	TIFF V6.0、マルチページ TIFF、PDF
サポートシステム	[クライアント PC] Netscape Navigator 4.0 以降または Microsoft Internet Explorer 4.0 以降 [サーバ PC] FTP (File Transfer Protocol) サーバ SMTP (Simple Mail Transfer Protocol) サーバ
添付ソフトウェア	Network TWAIN Driver

添付ソフトウェア / ドライバ動作環境

項目	Scanner TWAIN Driver/Network TWAIN Driver			
動作 OS	Windows®Me Windows®2000	Windows®98、Windows®95、 Windows NT®4.0		
CPU	Pentium133MHz 以上推奨	Pentium 以上推奨		
メモリ	16MB 以上			
ハードディスク	30MB 以上の空き容量			
項目	Pragma WebPrint/Pragma WebFiler (90 日間お試し版)			
動作 OS	Windows®2000	Windows NT® Server 4.0	Windows NT® Workstation 4.0	Windows®95
CPU	Pentium133MHz 以上推奨	Pentium 以上推奨		
メモリ	2MB 以上動作可能 (64MB 以上推奨) Windows®2000 Server は 128MB 以上			
ハードディスク	30MB 以上の空き容量			
必須ソフトウェア	Microsoft® Internet Information Services 5.0	Microsoft® Internet Information Server 3.0 以降	Microsoft® Peer Web Services	Microsoft® パーソナル Web サーバ V1.0
備考	クライアント動作環境として、対応ブラウザは Netscape Navigator 4.0 以降または Microsoft Internet Explorer 4.0 以降 が必要			

索引

英字

DNS サーバ	3-8 / 4-3
eメール添付送信 メールJOB	
FTP 送信 ファイルJOB	
IP アドレス	3-1 / 4-2
JOB	1-5 / 4-14 / 5-1 / 7-2
MH 圧縮 圧縮	
Network TWAIN	1-4 / 5-14 / 5-18
OCR	2-21 / 5-8 / 5-16 / 6-14
Ping 送信	4-5
PDF	1-8
SMTP サーバ メールサーバ	
TIFF シングルページ TIFF / マルチページ TIFF	
TWAIN Network TWAIN	

あ

圧縮	1-10 / 5-7 / 5-15 / 5-21
裏当て ADF 裏当て / 原稿押さえパッド	
オペレータパネル	1-6 / 2-1

か

解像度	1-9 / 6-6
外部送信確認 メールドメインチェック	
画像処理	6-9
片面モード 片面 / 両面モード	
片面 / 両面モード	1-6 / 7-2 / 7-6
かんたん読取り設定	5-9 / 5-16 / 5-22
グループ	4-14 / 7-2
グレー	1-9 / 5-9 / 5-16 / 5-22
ゲートウェイアドレス	3-4 / 4-3
原稿の縦横	1-7 / 6-2
原稿押さえパッド	1-7 / 4-9 / 6-2
原稿サイズ 用紙サイズ	

さ

サービス	4-16 / 5-1
シングルページ TIFF	1-8 / 5-7 / 5-15 / 5-24
設定情報の待避・復元	4-18
節電モード	4-8
送信確認	4-9 / 7-3

た

多値 グレー	
ダブルフィード検出	6-13
追加モード	1-8 / 7-3 / 7-7
データサイズ	1-9
転送レート ネットワーク速度	
ドメインチェック メールドメインチェック	

な

ネットマスク値	3-3 / 4-2
ネットワーク速度	3-5 / 4-4

は

白紙スキップ	1-6 / 6-14 / 7-5
二値	5-8 / 5-16 / 5-22 / 6-7
パスワード	4-11
ファイルJOB	1-3 / 5-11
フラットベッド裏当て 原稿押さえパッド	

ま

マルチページ TIFF	1-8 / 5-6 / 5-15 / 5-21 / 7-5 / 7-7
メールJOB	1-2 / 1-10 / 5-3
メールサーバ	3-9 / 4-4
メールドメインチェック	4-9 / 7-3
メール分割	5-6
メモリ容量	4-22

や

用紙サイズ	1-7 / 6-1
用紙設定	1-9 / 6-1 / 7-4
用紙方向 原稿の縦横	
読取り設定のカスタマイズ	6-1
読取り領域	6-3

ら

両面モード 片面 / 両面モード	
------------------	--

修理・お問い合わせについて

当社では、お客様に安心してイメージスキャナ fi シリーズをご使用いただけるよう、万全のサポート体制を整えています。

購入時にご加入いただく契約サービスと、必要な時にその都度ご利用いただけるスポットサービスによりお客様を強力にバックアップいたします。

契約サービス

定期保守サービス

年に1度予防保守を行います。万一の障害発生時には、保守員がお客様のところにお伺いして保守修理作業を実施します。

定額保守サービス

万一の障害発生時には、保守員がお客様のところにお伺いして保守修理作業を実施します。

なお、コール受付窓口については、担当の保守員にお問い合わせください。

スポットサービス

持ち込み修理サービス（有償）

当社所定料金と部品費にて修理をおこないます。
当社修理拠点までの送料は、発送元負担となります。

引き取り修理サービス（有償）

保証期間中の場合も有償となります

当社指定の運送業者がお客様のご指定日時に引き取りにお伺いし、修理品をお預かりします。修理品は業者が梱包いたします。

代替機サービス（有償）

保証期間中の場合も有償となります。

「引取りサービス」をご利用いただいたお客様には、修理期間中の代替機貸し出しサービスをご利用になることができます。



・代替機サービスは、引き取りサービスとの併用でのみご利用できません。代替機サービスのみのご利用はできません。ご了承ください。

・代替機については、同一機種ではなく、同等機能をもつ機種となる場合があります。

部品費については、当社所定料金が別途必要になります。保証期間内に正常な使用状態で故障した場合は、無料で修理いたします。

スポットサービスの場合の故障・修理、および各種お問い合わせ

受付窓口	PFU イメージング サービス&サポートセンター
E-mail	scanners@pfu.fujitsu.com
電話	0120 - 37 - 9089 042 - 788 - 7746（携帯電話からおかけの場合）
受付時間	月～金曜日 9:00～12:00、13:30～17:00 (土・日・祝祭日・当社休業日を除く)
修理拠点	株式会社 PFU 金沢クーリエセンター 電話：076 - 204 - 2600 住所につきましては保証書の記載をご覧ください。
ホームページ	http://imagescanner.fujitsu.com/jp/

なお、本サービス内容は、予告なく変更される場合があります。
詳細につきましては、当社ホームページでご確認いただくか、またはPFU
イメージングサービス&サポートセンターまでお問い合わせください。

